

区民活動調査

調査結果報告書

平成13年 3 月

目 次

【高齢者意向調査】

I 調査の概要	
1 調査の目的	325
2 調査の対象と対象数	325
3 標本抽出	325
4 調査の方法	325
5 調査の時期	325
6 有効回収数等	325
7 用いた調査票	325
II 調査の結果	
1 標本構成	326
2 介護保険のサービスについて	329
(1) 介護保険サービスの認定状況	
(2) 認定された要介護度区分の分布	
(3) 現在受けている介護保険サービスの内容	
(4) 日常生活における主な介護者	
(5) 居宅介護サービスの改善要望点	
(6) 入所している施設の種類	
(7) 介護老人福祉施設に入所するまでの待ち期間	
(8) 介護老人福祉施設への入所希望	
3 将来、介護が必要になった場合の考え方	332
(1) 将来、介護が必要になった場合の介護形態の希望	
(2) 主に介護してほしいと考えている相手	
(3) 将来、充実させてほしい居宅介護サービスの内容	
(4) 将来、入所を希望する施設の種類	
4 就業の状況	334
(1) 現在の就業状況	
(2) 「働きたいが働けない」理由	
(3) 働くことが出来る場合の通勤時間の希望	
(4) 働くことについて行政に望むこと（自由意見）	
5 ふだんの生活の中での関心事	336
6 スポーツ・文化・学習活動の現状と要望	337
(1) 現在行っているスポーツ・文化・学習活動	
(2) スポーツ・文化・学習活動を行っているの不满点	
(3) スポーツ・文化・学習活動に対する区の財政的支援についての考え方	

(4) スポーツ・文化・学習活動について行政に望むこと（自由意見）	
7 インターネットの利用状況	342
(1) インターネットの利用状況	
(2) インターネットを利用していない（利用できない）理由	

【地域活動に関する調査】

I 調査の概要	
1 調査の目的	344
2 調査の対象と対象数	344
3 標本抽出	344
4 調査の方法	344
5 調査の時期	344
6 有効回収数等	344
7 用いた調査票	344
II 調査の結果	
1 標本構成	345
2 集計に用いた区分	348
3 地域の町会・自治会活動への参加状況	350
(1) 地域の町会・自治会活動への参加状況	
(2) 町会・自治会活動に参加している理由	
(3) 町会・自治会活動への参加頻度	
(4) 町会・自治会活動に参加していない理由	
4 町会・自治会以外の地域活動への参加状況	352
(1) 町会・自治会以外の地域活動への参加状況	
(2) 参加している活動の内容	
(3) もっとも参加している活動への参加理由	
(4) もっとも参加している活動への参加頻度	
5 地域での活動を行ううえで区に対して望むこと	354
6 地域活動に対する区の関わり方についての考え方	354
7 行動の種類別に見た区内での行動割合	355
8 日常生活で直面するさまざまな局面における相談相手など	356
9 地域活動やそれに対する区の施策などについて（自由意見）	362

【資料編（用いた調査票）】

<高齢者意向調査>	366
<地域活動に関する調査>	370

高齡者意向調查

I 調査の概要

1 調査の目的

板橋区においても「高齢化」は今後、ますます進展していくことが確実であり、高齢者に対するさまざまな福祉サービスをより一層充実させていく必要がある。そこで、現在の高齢者福祉サービスに対する高齢者の評価と今後におけるニーズを把握し、サービスの在り方について検討する基礎的資料を作成することを目的とした。

また、合わせて、「元気な高齢者」の就業の状況や生きがい、スポーツ・文化・学習活動の実態についても調査した。

2 調査の対象と対象数

満65歳以上の男女個人、3,000人（男性；1,500人、女性；1,500人）。

3 標本抽出

住民基本台帳から無作為抽出。

4 調査の方法

郵送によった。

5 調査の時期

平成13年3月15日（木）に調査票を発送し、同25日（日）までを返送期限とした。

6 有効回収数等

単純回収数は1,674 N（単純回収率：55.8%）。うち、有効回収数は1,667 N（有効回収率：55.6%）。

7 用いた調査票

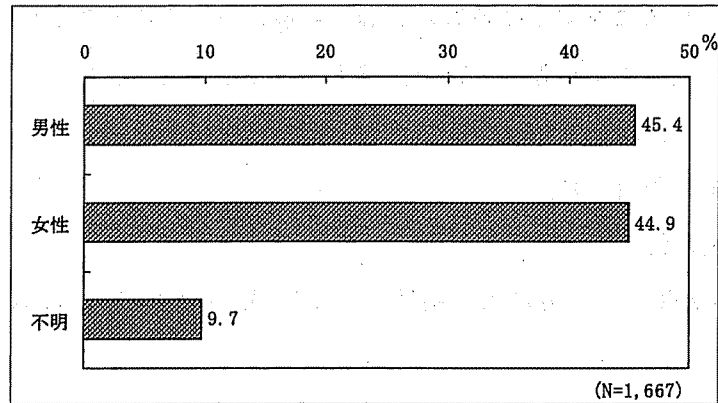
郵送時に用いた調査票は「資料編」のとおりである。

II 調査の結果

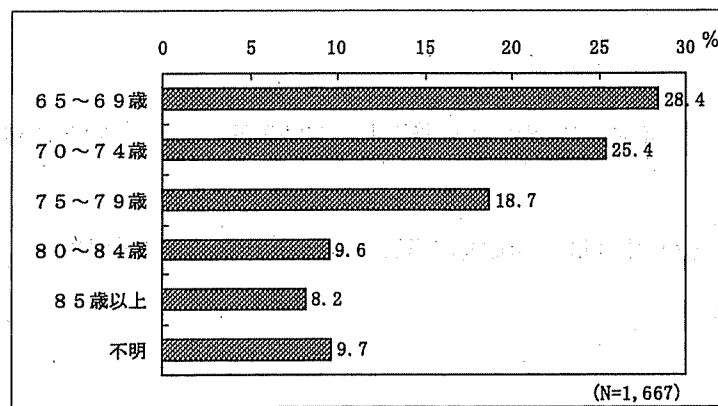
1 標本構成

有効回答数=1,667 Nの性別、年代等の標本構成は次のとおりである。

(図1) 性別の分布



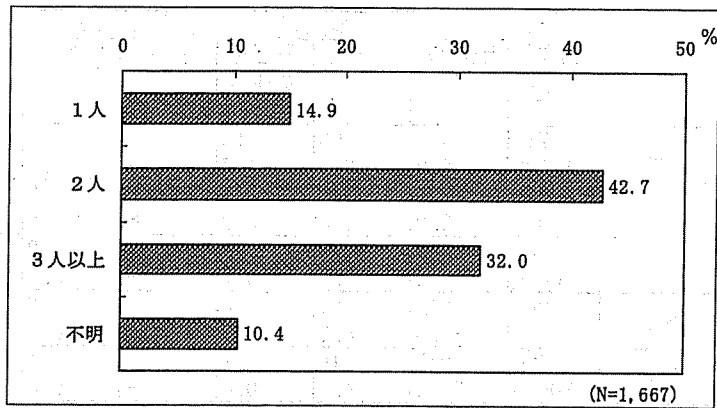
(図2) 年代の分布



(表1) 性別×年代の分布

		者回答	年代					不明
			65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	
全 体		1,667 100.0	473 28.4	424 25.4	312 18.7	160 9.6	137 8.2	161 9.7
性別	男性	757 100.0	243 32.1	236 31.2	165 21.8	60 7.9	53 7.0	-
	女性	748 100.0	230 30.7	187 25.0	147 19.7	100 13.4	84 11.2	-
	不明	162 100.0	-	1 0.6	-	-	-	161 99.4

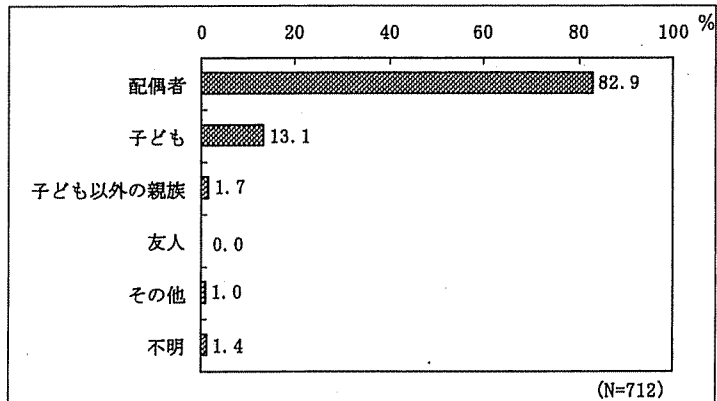
(図3) 家族数 (本人を含む) の分布



(表2) 性別、年代別×家族数の分布

		者回数 数答	家族数 (本人を含む)			
			1人	2人	3人以上	不明
全 体		1,667 100.0	249 14.9	712 42.7	533 32.0	173 10.4
性別	男性	757 100.0	58 7.7	410 54.2	282 37.3	7 0.9
	女性	748 100.0	190 25.4	301 40.2	250 33.4	7 0.9
年代	65～69歳	473 100.0	72 15.2	240 50.7	159 33.6	2 0.4
	70～74歳	424 100.0	56 13.2	226 53.3	138 32.5	4 0.9
	75～79歳	312 100.0	62 19.9	144 46.2	104 33.3	2 0.6
	80～84歳	160 100.0	33 20.6	57 35.6	66 41.3	4 2.5
	85歳以上	137 100.0	25 18.2	44 32.1	66 48.2	2 1.5

(図4) 本人以外の家族の内訳 (家族数が2人の場合のみ)



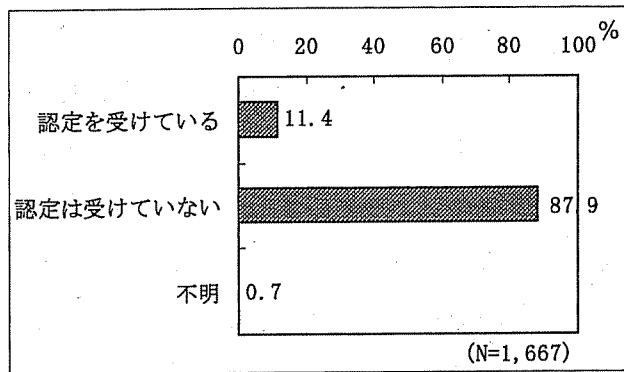
(表3) 性別、年代別×本人以外の家族の内訳

		回 答 者	本人以外の同居人の内訳					不明
			配偶者	子ども	子ども 以外の 親族	友人	その他	
全 体		712 100.0	590 82.9	93 13.1	12 1.7	-	7 1.0	10 1.4
性別	男性	410 100.0	378 92.2	19 4.6	1 0.2	-	5 1.2	7 1.7
	女性	301 100.0	212 70.4	73 24.3	11 3.7	-	2 0.7	3 1.0
年代	65～69歳	240 100.0	210 87.5	21 8.8	6 2.5	-	2 0.8	1 0.4
	70～74歳	226 100.0	210 92.9	10 4.4	1 0.4	-	1 0.4	4 1.8
	75～79歳	144 100.0	113 78.5	21 14.6	2 1.4	-	3 2.1	5 3.5
	80～84歳	57 100.0	35 61.4	20 35.1	1 1.8	-	1 1.8	-
	85歳以上	44 100.0	22 50.0	20 45.5	2 4.5	-	-	-

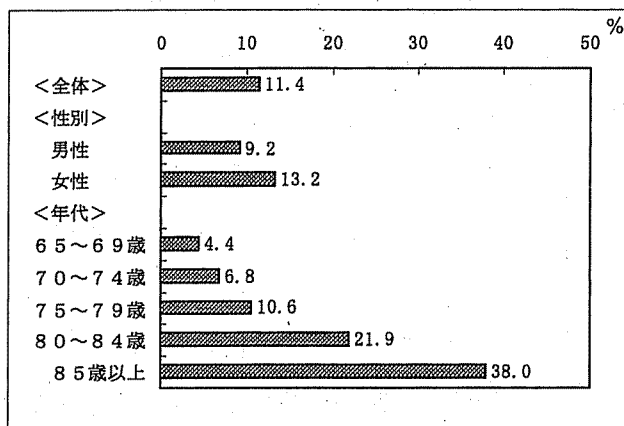
2 介護保険のサービスについて

(1) 介護保険サービスの認定状況

(図5) 介護保険サービスの認定状況

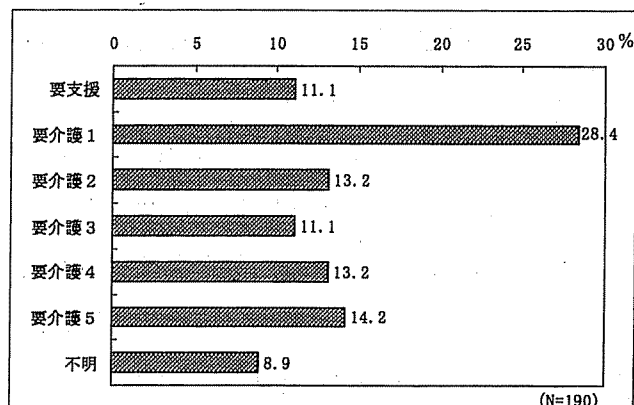


(図6) 性別、年代別に見た認定を受けている割合



(2) 認定された要介護度区分の分布

(図7) 認定された要介護度区分の分布



はじめに、介護保険サービスの認定の状況について見ると、認定を受けている割合が11.4%、受けていない割合が87.9%となっている。

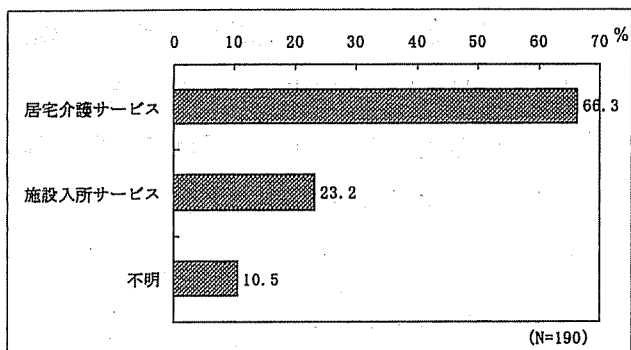
なお、「受けている割合」を性別、年代別に見ると(図6)のとおりであり、性別では女性がやや多く、年代別には年代が高くなるにつれて割合が上昇し、80~84歳では21.9%、85歳以上になると38.0%と4割近くに達している。

認定を受けている人(190人)の要介護度区分の分布は(図7)のようになっており、要介護1~5の中では日常生活における支障がもっとも少ない要介護1の割合が28.4%ともっとも多くなっている。

なお、性別、年代別には著しい差異は見られない。

(3) 現在受けている介護保険サービスの内容

(図8) 現在受けている介護保険サービスの内容

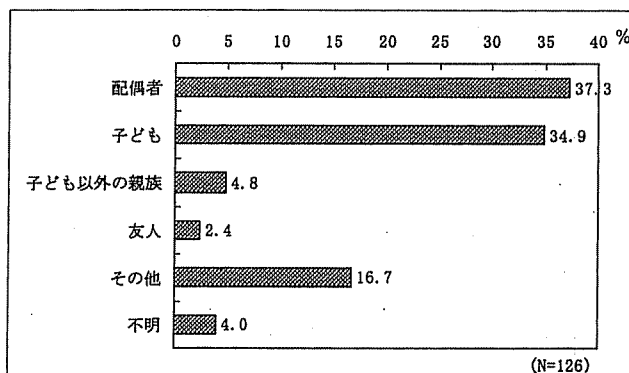


認定を受けている人 (190 人) が現在受けている介護保険サービスの内容は居宅介護サービスが 66.3 %、施設入所サービスが 23.2 %となっている。

なお、年代が高くなるにつれて施設入所サービスを受けている割合がやや増加しているほか、要介護度区分が重いほど同様の傾向が見られる。

(4) 日常生活における主な介護者

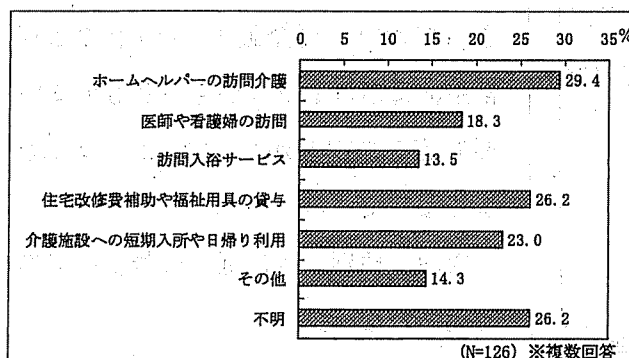
(図9) 日常生活における主な介護者



居宅介護サービスを現在受けている人 (126 人) の日常生活における主な介護者の内訳は (図 9) のとおり、配偶者と子どもがそれぞれ約 3 分の 1 ずつを占めているが、これを年代別に見ると、74 歳までは配偶者が 7 割前後となっているが、年代の上昇とともに配偶者の割合が減少し、子どもの割合が増加し、85 歳以上ではこどもの割合が 6 割強となっている。

(5) 居宅介護サービスの改善要望点

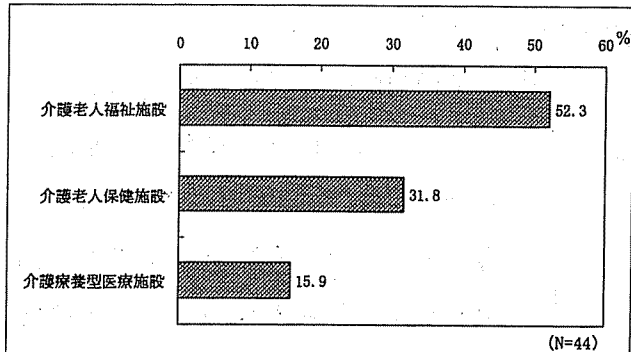
(図10) 居宅介護サービスの改善要望点



居宅介護サービスを現在受けている人 (126 人) が回答した改善要望点は (図 10) のようになり、「ホームヘルパーの訪問介護」(29.4 %)、「高齢者のための住宅改修費補助や福祉用具の貸与」(26.2 %)、「介護施設への短期入所や日帰り利用」(23.0 %) の順となっている。

(6) 入所している施設の種類の種類

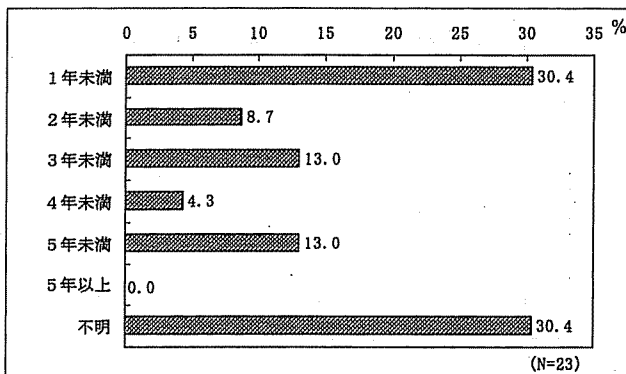
(図11) 入所している施設の種類の種類



次に、施設入所サービスを現在受けている人（44人）が入所している施設の種類の種類を見ると、「介護老人福祉施設（以前の特養）」が52.3%と過半数強、「介護老人保健施設」が31.8%、「介護療養型医療施設」が15.9%という内訳となっている。

(7) 介護老人福祉施設に入所するまでの待ち期間

(図12) 介護老人福祉施設に入所するまでの待ち期間



また、介護老人福祉施設に現在入所している人（23人）が実際に入所するまでどれだけの期間を待っていたかについては（図12）に示すとおりで、割合としては1年未満がもっとも多くなっている（ただし、回答者数が少ないので注意）。

(8) 介護老人福祉施設への入所希望

(表4) 介護老人福祉施設への入所希望

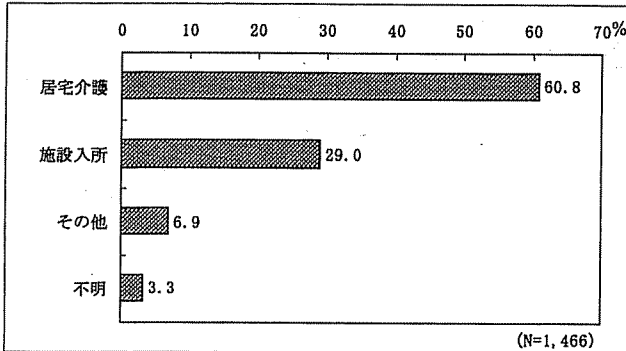
	回答者数	介護老人福祉施設への入所希望	
		希望する	希望しない
全体	21	19	2
	100.0	90.5	9.5
入所施設の種類	介護老人保健施設	14	2
	介護療養型医療施設	7	-
	100.0	85.7	14.3
	100.0	100.0	-

なお、介護老人保健施設あるいは介護療養型医療施設に現在入所している人（21人）の介護老人福祉施設への入所希望率は（表4）のとおりであり、介護老人保健施設に入所している人は14人中12人、介護療養型医療施設に入所している人は7人全員が介護老人福祉施設への入所を希望している。

3 将来、介護が必要になった場合の考え方

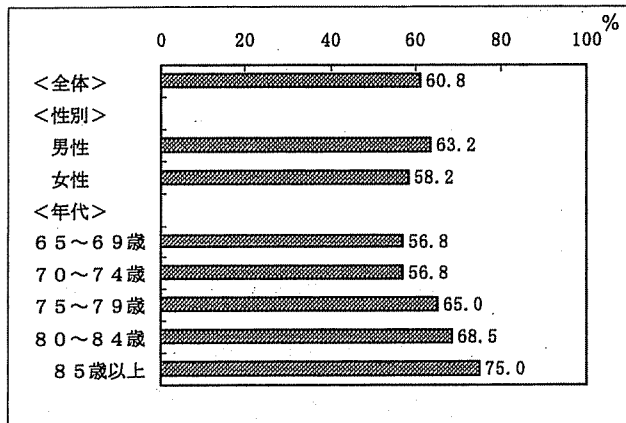
(1) 将来、介護が必要になった場合の介護形態の希望

(図13) 将来、介護が必要になった場合の介護形態の希望



介護保険サービスの認定を受けていない人(1,466人)に将来、介護が必要になった場合にどのような介護形態を望んでいるかを聞いた結果は(図13)に示すとおりで、居宅介護が約6割、施設入所が約3割となっている。

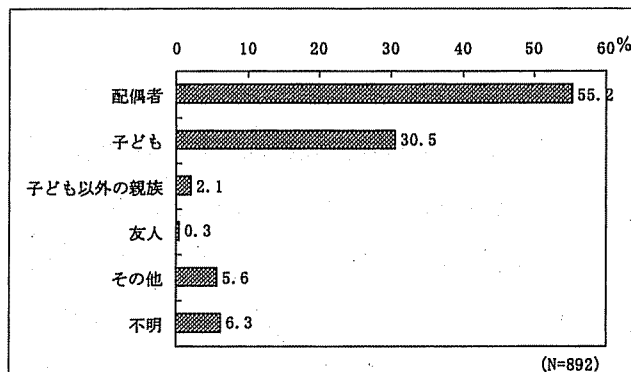
(図14) 性別、年代別に見た将来、居宅介護を希望する割合



なお、居宅介護を希望する割合を性別、年代別に見ると、性別では男性にやや多く、年代別には年代が高くなるにつれて徐々に増加している。

(2) 主に介護してほしいと考えている相手

(図15) 主に介護してほしいと考えている相手

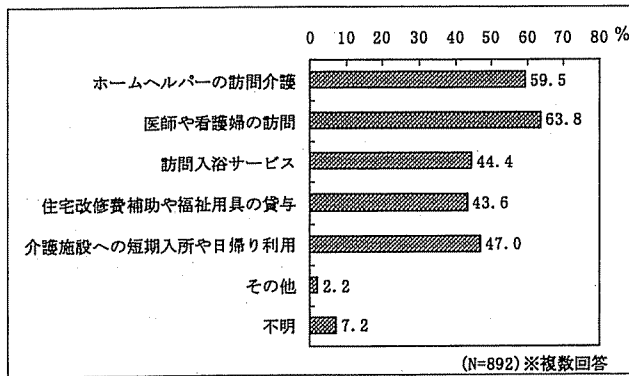


将来、介護が必要になった場合に居宅介護を望んでいる人(892人)が主にだれに介護をしてもらいたいと考えているかを聞いた結果は(図15)のとおり、配偶者が55.2%、子どもが30.5%となっている。

これを性別に見ると、男性は配偶者：80.0%、子ども：13.0%と圧倒的に配偶者への期待が大きいのにに対し、女性は配偶者が26.2%と非常に少なく(子どもが52.7%)、対照的である。

(3) 将来、充実させてほしい居宅介護サービスの内容

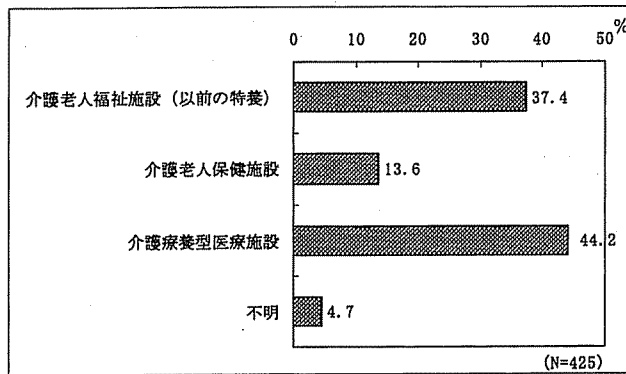
(図16) 将来、充実させてほしい居宅介護サービスの内容



将来、介護が必要になった場合に居宅介護を望んでいる人(892人)が将来的に充実させてほしいと考えている居宅介護サービスの内容は「医師や看護婦の訪問」がもっとも多くて63.8%、次いで、「ホームヘルパーの訪問看護」が59.5%と続いている。他の3つのサービスについてはいずれも40%台となっている。

(4) 将来、入所を希望する施設の種類

(図17) 将来、入所を希望する施設の種類

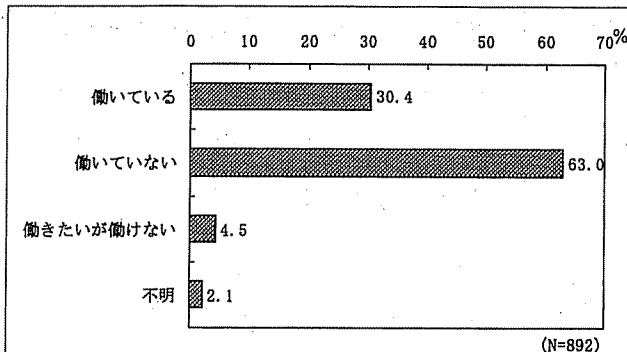


将来、介護が必要になった場合に居宅介護ではなく、施設への入所を望んでいる人(425人)にその種類を聞いた結果は(図17)のとおり、「介護療養型医療施設」が44.2%ともっとも多く、次いで、「介護老人福祉施設(以前の特養)」が37.4%で続き、「介護老人保健施設」は13.6%にとどまっている。

4 就業の状況

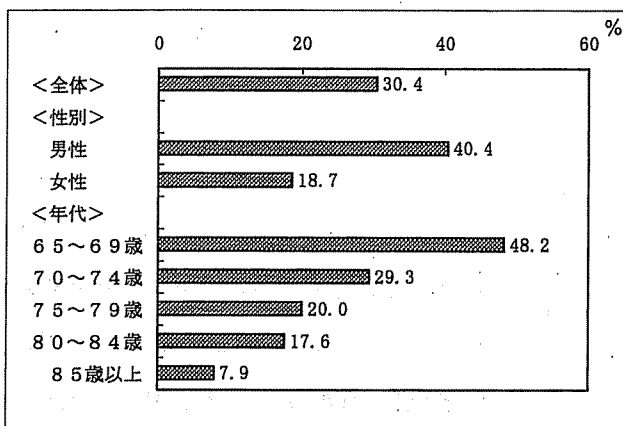
(1) 現在の就業状況

(図18) 現在の就業状況



介護保険サービスの認定を現在受けていなくて、かつ、将来、介護が必要になった場合に居宅介護を望んでいる人（892人）の現在の就業の状況は（図18）のとおりであり、働いている人の割合は30.4%となっている。

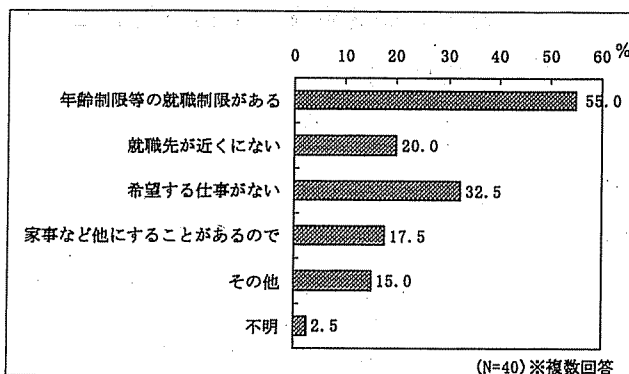
(図19) 性別、年代別に見た就業している割合



この就業している割合を性別、年代別に見ると（図19）に示すように、性別では女性の18.7%に対し、男性は40.04%と2倍以上となっている。また、年代別には年代が高くなるにつれて就業している割合は急速に減少している。

(2) 「働きたいが働けない」理由

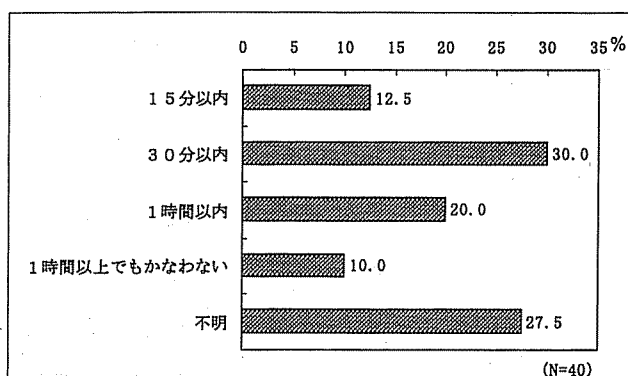
(図20) 「働きたいが働けない」理由



現在の就業状況について、「働きたいが働けない」と回答した人（40人）にその理由を聞いた結果は（図20）のとおりであり、「年齢制限等の就職制限がある」が55.0%、次いで、「希望する仕事がない」が32.5%となっている。

(3) 働くことが出来る場合の通勤時間の希望

(図21) 働くことが出来る場合の通勤時間の希望



なお、「働きたいが働けない」人(40人)にもし働くことが出来る場合の通勤時間の希望を聞いた結果は(図21)に示すとおりであり、30分以内が30.0%でもっとも多くなっている。

(4) 働くことについて行政に望むこと(自由意見)

下記のように、自由意見を記入してもらう欄を設けた。

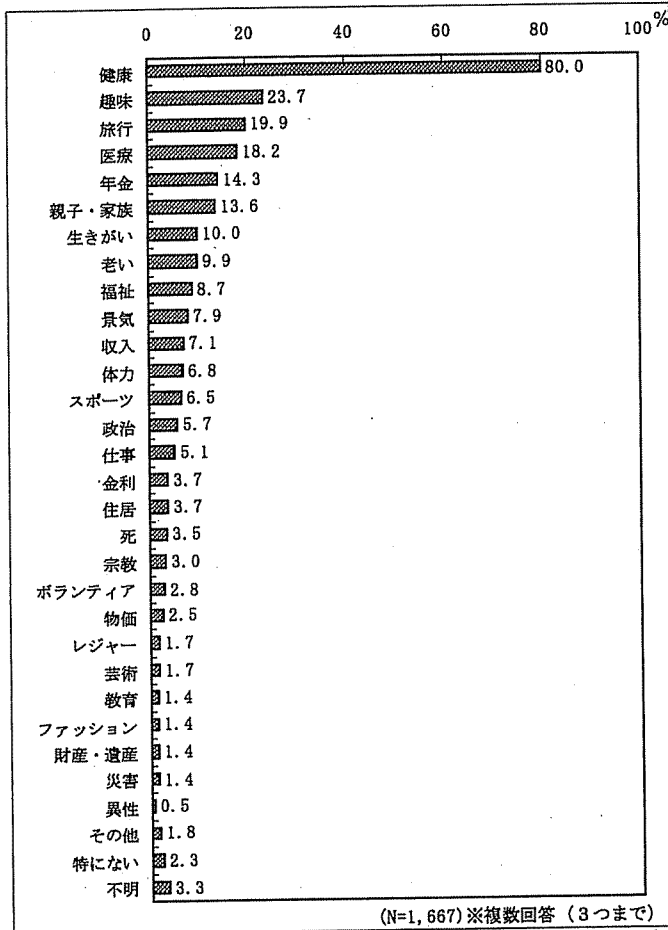
問2副問6 働くことについて行政に望むことがありましたら、どんなことでも結構ですから下欄に自由にお書き下さい。

この質問については、前掲の現在の就業状況において「働きたいが働けない」と回答した人(40人)だけが回答する形としていたが、そうではない人もたくさん記入しており、全体で約110人の記入があった(本来の40人については、その35.0%にあたる14人が回答)。その中から、主要なものを以下に掲げておく。全体として、働く意欲が十分あり、健康面でも問題がないにもかかわらず、「年齢制限」によってなかなか仕事が見つからない、あっせんしてもらえないという声が多く見られる。また、年齢制限とは別に、仕事の内容が単純作業ばかりで、これまでに培ってきた経験や能力を発揮できるようなものがないという声も多い(これらはいずれも、シルバー人材センター等の公的機関のあっせん内容に対する不満として記入されている)。これらの現状を踏まえて、行政に対して次のような「提案」が記入されているので以下に掲げておく。

- ・ 「健康な高齢者」が働ける諸環境の整備
- ・ 高齢者でなければ出来ない、高齢者にふさわしい仕事の創出
- ・ ボランティア活動の「場」づくり
- ・ ボランティア活動のための技術等を習得出来る講習会の開催
- ・ 経験や能力を発揮して仕事をし、社会に貢献できるシステムづくり

5 ふだんの生活の中での関心事

(図22) ふだんの生活の中での関心事 (回答率順)



あらかじめ、28の項目を設定して回答してもらった。その結果は(図22)に示すとおりである。

これによると、「健康」に対する関心が80.0%と群を抜いて高い。次いで、「趣味」が2番目となっているが、回答率は23.7%と「健康」への回答率とは大きな開きがある。

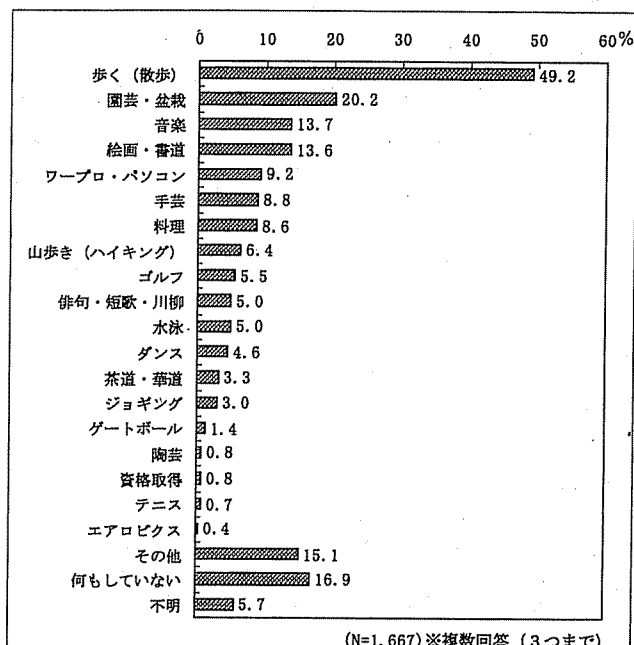
以下、旅行：19.9%、医療：18.2%、年金：14.3%、親子・家族：13.6%、生きがい：10.0%、と続いており、ここまでが回答率10%以上となっている。

なお、この回答状況を性別、年代別に見ても大きな差異は見られない。

6 スポーツ・文化・学習活動の現状と要望

(1) 現在行っているスポーツ・文化・学習活動

(図23) 現在行っているスポーツ・文化・学習活動 (回答率順)



この質問もあらかじめ、19の活動を設定して回答してもらった。その結果は(図23)に示すとおりである。

これによると、「歩く(散歩)」が49.2%と過半数弱でもっとも多く、次いで、園芸・盆栽:20.2%、音楽:13.7%、絵画・書道:13.6%と続いており、ここまでが回答率10%以上となっている。

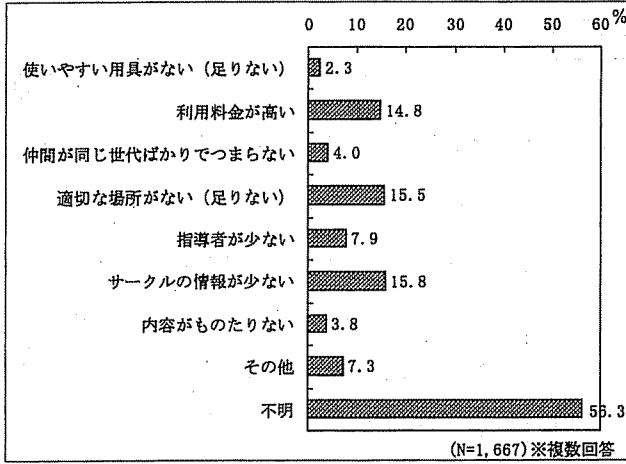
なお、性別、年代別に見た回答状況は(表5)のとおりである。

(表5) 性別、年代別に見た現在行っているスポーツ・文化・学習活動 (回答率順)

	回答者数	歩く(散歩)	園芸・盆栽	音楽	絵画・書道	ワープロ・パソコン	手芸	料理	山歩き(ハイキング)	ゴルフ	俳句・短歌・川柳	水泳
全体	1,667	49.2	20.2	13.7	13.6	9.2	8.8	8.6	6.4	5.5	5.0	5.0
性別												
男性	757	54.8	24.3	12.4	13.1	15.2	1.2	5.7	8.3	10.3	5.5	3.4
女性	748	44.0	17.0	14.0	14.3	3.2	16.2	11.8	4.4	0.7	4.8	6.4
年代												
65~69歳	473	53.3	21.8	18.6	10.1	13.1	9.5	11.0	11.2	10.8	3.8	6.3
70~74歳	424	55.2	21.5	11.6	16.5	9.7	9.4	7.5	4.7	4.7	4.2	6.6
75~79歳	312	47.8	19.2	13.5	17.3	8.7	8.0	6.7	5.4	2.9	5.8	4.8
80~84歳	160	41.9	18.8	8.8	14.4	3.8	6.9	9.4	3.8	1.3	7.5	0.6
85歳以上	137	31.4	19.7	4.4	8.0	2.2	6.6	8.0	-	0.7	8.8	-
	回答者数	ダンス	茶道・華道	ジョギング	ゲートボール	陶芸	資格取得	テニス	エアロビクス	その他	何もしていない	不明
全体	1,667	4.6	3.3	3.0	1.4	0.8	0.8	0.7	0.4	15.1	16.9	5.7
性別												
男性	757	2.8	0.7	4.6	1.6	0.5	1.5	1.1	0.1	17.8	15.6	4.1
女性	748	6.3	6.0	1.5	1.3	1.2	0.4	0.4	0.4	12.7	18.6	6.4
年代												
65~69歳	473	5.5	2.3	4.4	-	1.1	1.5	1.3	0.8	16.7	12.9	2.5
70~74歳	424	5.9	3.5	4.0	0.7	1.2	0.9	0.2	-	15.6	14.4	4.7
75~79歳	312	4.2	4.8	2.2	2.2	0.6	1.0	1.0	-	17.3	15.4	6.1
80~84歳	160	1.9	3.8	1.3	1.9	0.6	-	-	-	11.3	22.5	9.4
85歳以上	137	0.7	2.2	-	6.6	-	-	0.7	-	9.5	37.2	9.5

(2) スポーツ・文化・学習活動を行っているの不満点

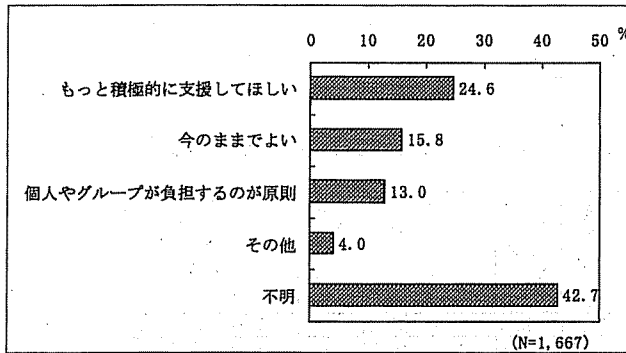
(図24) スポーツ・文化・学習活動を行っているの不満点



スポーツ・文化・学習活動を行っているの不満点については(図24)に示すとおり、「サークルの情報が少ない」「適切な場所がない(足りない)」「利用料金が高い」といった点が15%前後で並んでいる。

(3) スポーツ・文化・学習活動に対する区の財政的支援についての考え方

(図25) スポーツ・文化・学習活動に対する区の財政的支援についての考え方



スポーツ・文化・学習活動に対して区が財政的支援をすることについての考え方を聞いた結果は(図25)に示すとおりである。

これによると、「もっと積極的に支援してほしい」という考え方が24.6%、「今のままでよい」が15.8%、「個人やグループが負担するのが原則である」が13.0%となっている。

なお、上掲(2)の不満点別に見ると、(表6)のようになっている。

(表6) 不満点別に見た考え方の分布

	回答者数	しにもっと積極的に支援してほしい	今のままでよい	個人やグループが負担するのが原則	その他	不明	
全体	1,667	24.6	15.8	13.0	4.0	42.7	
スポーツ・文化・学習活動を行っている	使いやすい用具がない(足りない)	39	51.3	15.4	20.5	2.6	10.3
	利用料金が高い	246	57.3	14.2	13.8	2.4	12.2
	仲間が同じ世代ばかりでつまらない	67	44.8	20.9	26.9	-	7.5
	適切な場所がない(足りない)	258	53.5	12.8	20.5	4.3	8.9
	指導者が少ない	131	51.1	13.7	21.4	3.1	10.7
	サークルの情報が少ない	263	47.5	20.2	15.6	1.5	15.2
	内容がものたりない	64	48.4	20.3	17.2	9.4	4.7
その他	122	19.7	15.6	18.0	27.0	19.7	

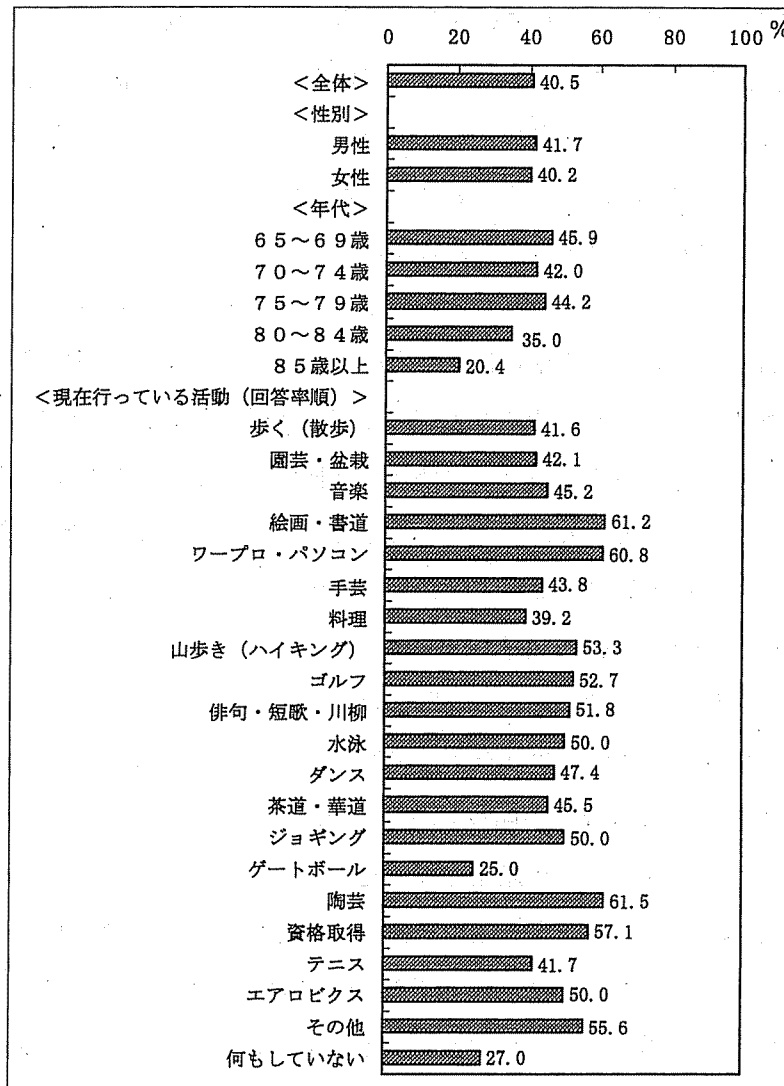
(4) スポーツ・文化・学習活動について行政に望むこと（自由意見）

下記のように、自由意見を記入してもらった欄を設けた。

問7【全員がお答え下さい】スポーツ・文化・学習活動について、行政に望むことがありましたら、どんなことでも結構ですから、下欄に自由にお書き下さい。

この結果、有効回答数1,667 Nの40.5%にあたる675 Nに自由意見の記入があった（注：自由意見の文章の長短は考慮していない）。この記入率を性別、年代別および現在行っているスポーツ・文化・学習活動別に表すと（図26）のようになっている。

（図26）性別、年代別、現在行っている活動別に見た自由意見の記入率



なお、記入されていた自由意見は多岐にわたっているが、65歳以上の高齢者が調査対象であることや最初の質問が介護保険に関するものであったことから、「スポーツ・文化・学習活動」ではなく、介護保険を始めとして、進行する老いへの不安や介護が必要になった時の不安、老老介護の厳しい現実などに関する記入が数多くなされていた。あるいは、足腰が弱って歩行が困難であることから、段差の問題や歩道上の違法な駐輪等による歩行障害の問題などをあげているケースも目につき、いわゆるバリアフリー環境の早急な整備が望まれている。

さて、本来の領域である「スポーツ・文化・学習活動」については、どこでどのような活動が行われているのか、そういう活動に加わるにはどのようにしたらよいか、といったことに関する情報が不足しているという声が多く見られた。ただ、この点についてはおそらく、情報そのものが著しく不足しているのではなく、情報の送り手と受け手のインターフェイスがうまく成立していないためではないかと思われる。したがって、情報の伝達をいかに効率的に、かつ、もれなく行うかについてのソフトの開発とシステムの構築が重要な政策課題であるといえよう。

また、情報に関連して、パソコンあるいはインターネット等の講習を受けてマスターしたいという希望が非常に多く見られた。次項のインターネットの利用状況では高齢者の8割強は「利用していない」としているが、その学習意欲はきわめて高いようである。なお、区が実施しているこの種の講習会に「何度も申し込みをしているが、抽選で毎回はずれている。もっと、人員の枠を拡大してほしい」という注文がかなりあった。同様の意見は、スポーツ施設や文化・学習施設の申し込みについてもあり、より公平な「あたりはずれ」が求められている。

次に、これらの施設が「近くにない」「行きたくても遠くて行けない」「徒歩圏内にあってほしい」といった適正配置に関わる意見も多く見られた。合わせて、少子化の進行に伴う「小・中学校の空き教室の開放」「閉鎖状態にある保育園の開放」によって、施設不足を解消したらどうかという意見も多く見られた。

また、開放という点では大東大を始めとする大学等公的機関の図書館の一般開放を望む声も意外と多かった。また、こうした公的施設の開放と合わせて、たとえば、「高齢者と子どもが触れ合う場として、小学校の空き教室を利用して合同であるテーマに基づく発表会を行う」「高齢者と若い人がいっしょに、小・中学校のグラウンドで運動会を行う」といった「世代間交流」を望む声もかなり見られた。

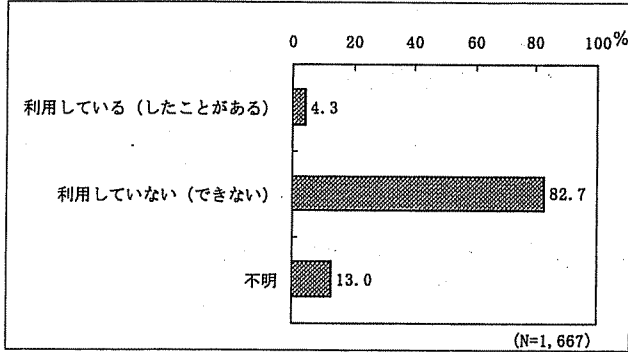
なお、スポーツ・文化・学習活動といった枠にとらわれず、「高齢者が自由に入りが出来る喫茶室、談話室」といった自由空間施設を身近に望む声も多かった。前掲の施設の適正配置と合わせて、従来にはなかった新機軸の施設の配置も視野に入れる必要があると思われる。

最後に、「現在活動しているグループはメンバーが固定化しているなどして、新しく入るのがなかなか困難。もっと、オープンにしてほしい」という指摘もあった。また、「グループのメンバーは女性が多く、活動のジャンルも女性向けが多く、男性が気軽に参加できるような場が意外とないように思う」という指摘もあった。

7 インターネットの利用状況

(1) インターネットの利用状況

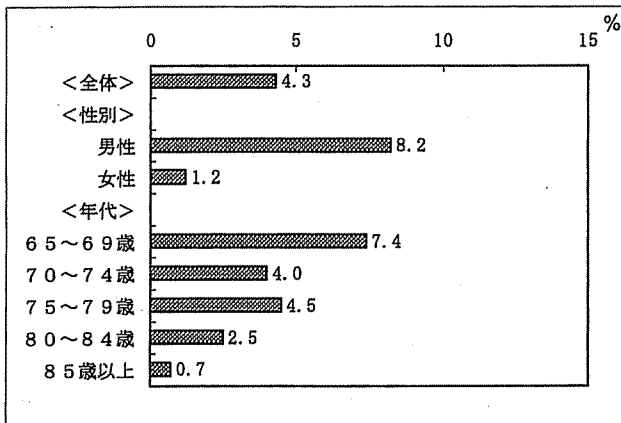
(図27) インターネットの利用状況



今回、インターネットの利用状況について調査したが、「利用している(利用したことがある)」人の割合は4.3%と少なかった。

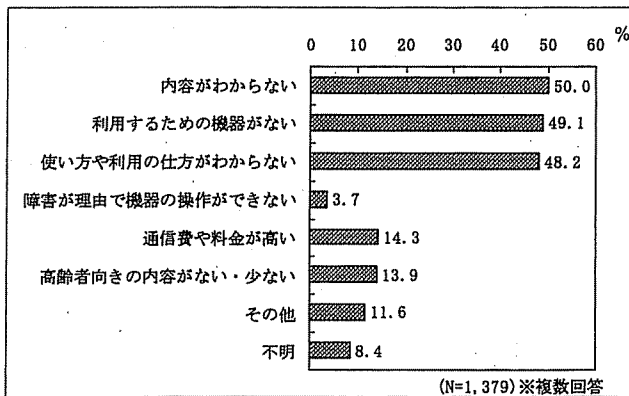
また、性別、年代別に見ると、(図28)のとおりであり、性別では男性の利用率が高く、年代別には年代が高くなるにつれて利用率が減少している。

(図28) 性別、年代別に見たインターネットの利用率



(2) インターネットを利用していない (利用できない) 理由

(図29) インターネットを利用していない (利用できない) 理由



インターネットを利用していない(利用できない)人(1,379人)にその理由を聞いた結果は(図29)のとおりであり、「インターネットの内容(どのようなことができるのか)がわからない」「利用するための機器がない」「機器の使い方やインターネット

の利用がわからない」といった理由が過半数前後となっている。

地域活動に関する調査

I 調査の概要

1 調査の目的

板橋区内の各地域において、公共的な課題に対して取り組んでいるさまざまな主体の活動および意識について調査するとともに、それらの主体を包含する地域コミュニティの自律性、成熟度についての現状分析を行うことを目的とした。

2 調査の対象と対象数

満20歳以上の男女個人、2,000人（男性：1,000人、女性：1,000人）。

3 標本抽出

住民基本台帳から無作為抽出。

4 調査の方法

郵送による。

5 調査の時期

平成13年3月15日（木）に調査票を発送し、同25日（日）までを返送期限とした。

6 有効回収数等

単純回収数は537N（単純回収率：26.9％）。うち、有効回収数は534N（有効回収率：26.7％）。

7 用いた調査票

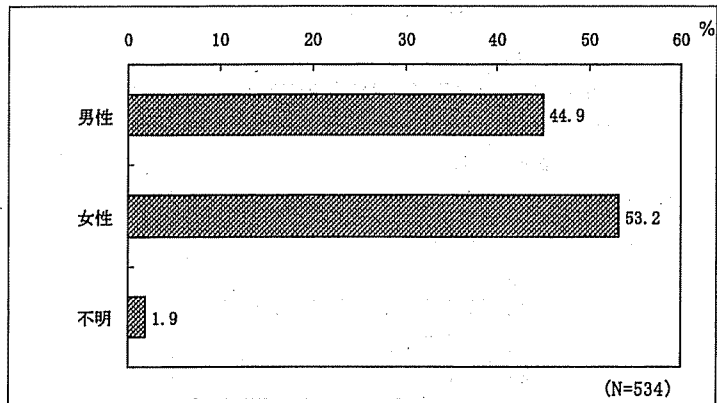
郵送時に用いた調査票は「資料編」のとおりである。

II 調査の結果

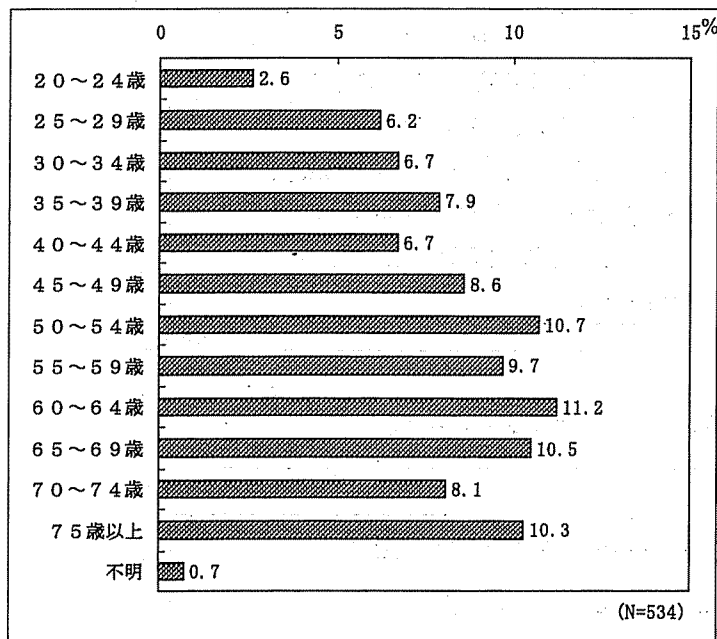
1 標本構成

有効回答数=534 Nの性別、年代等の標本構成は次のとおりである。

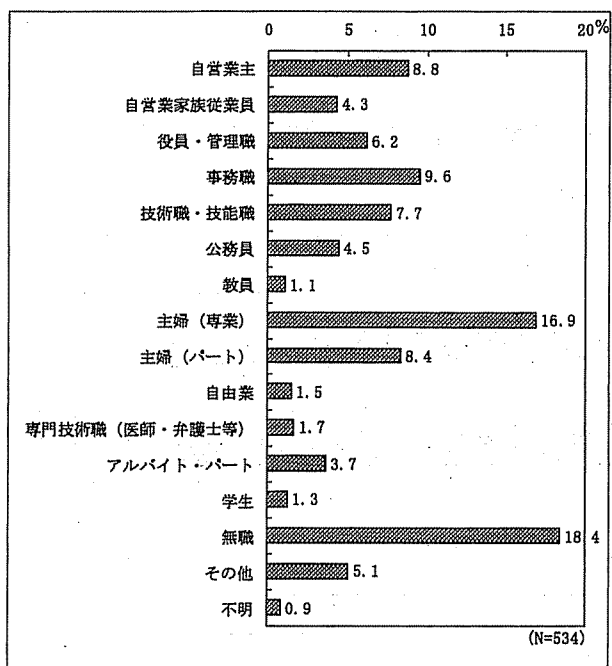
(図30) 性別の分布



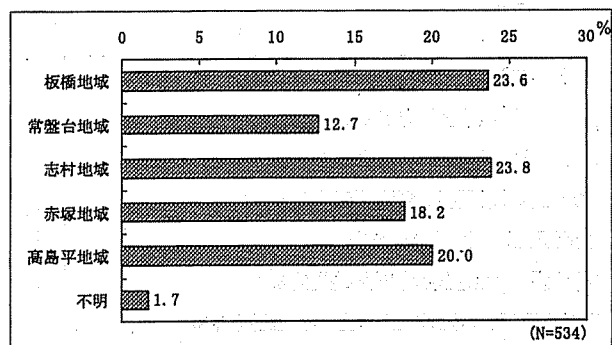
(図31) 年代の分布



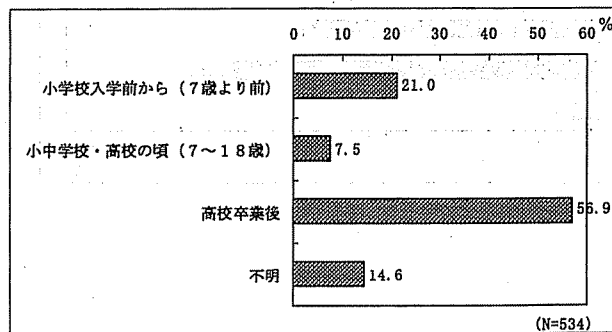
(図32) 職業の分布



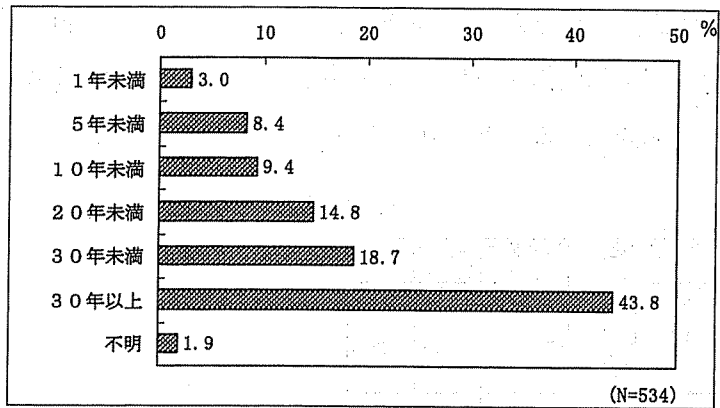
(図33) 居住地域の分布



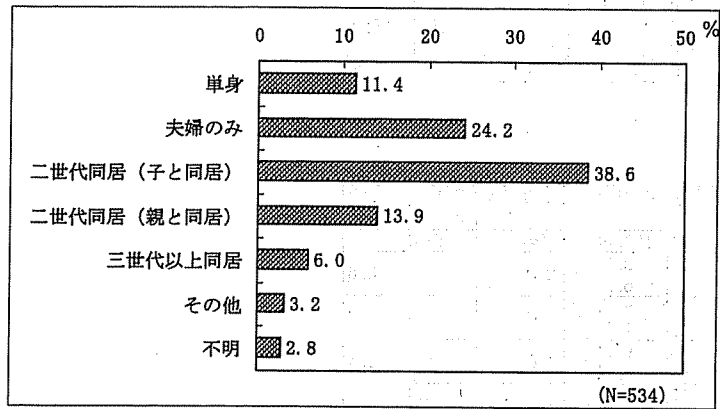
(図34) 区内居住開始時期の分布



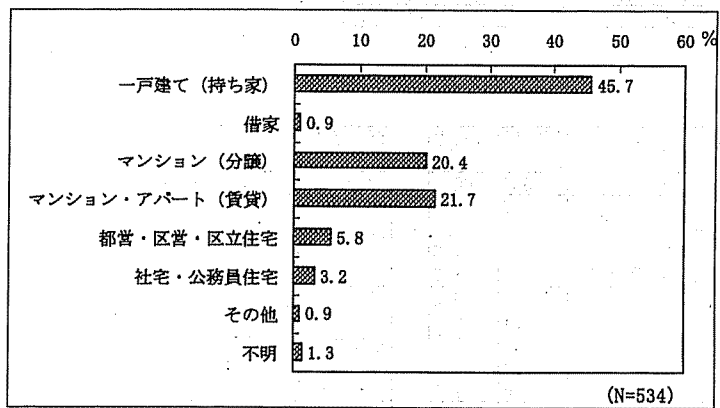
(図35) 区内居住年数の分布



(図36) 世帯構成の分布



(図37) 住居形態の分布



2 集計に用いた区分

前掲の「1 標本構成」に示した各基本特性をキーとしてクロス集計を行ったが、合わせて、これらの基本特性を集約あるいは組み合わせて新しいキー項目を作成し、同様にクロス集計を行った。具体的には次のとおりである。

<年代集約①>

原カテゴリー	回答者数	構成比		新カテゴリー	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0		(全体)	534	100.0
20～24歳	14	2.6	→ 若年		125	23.4
25～29歳	33	6.2				
30～34歳	36	6.7				
35～39歳	42	7.9				
40～44歳	36	6.7	→ 壮年		251	47.0
45～49歳	46	8.6				
50～54歳	57	10.7				
55～59歳	52	9.7				
60～64歳	60	11.2	→ 高齢		154	28.8
65～69歳	56	10.5				
70～74歳	43	8.1				
75歳以上	55	10.3				
不明	4	0.7		→ 不明	4	0.7

<年代集約②>

原カテゴリー	回答者数	構成比		新カテゴリー	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0		(全体)	534	100.0
20～24歳	14	2.6	→	20代	47	8.8
25～29歳	33	6.2	→	30代	78	14.6
30～34歳	36	6.7	→	40代	82	15.4
35～39歳	42	7.9	→	50代	109	20.4
40～44歳	36	6.7	→	60代	116	21.7
45～49歳	46	8.6	→	70歳以上	98	18.4
50～54歳	57	10.7	→	不明	4	0.7
55～59歳	52	9.7				
60～64歳	60	11.2				
65～69歳	56	10.5				
70～74歳	43	8.1				
75歳以上	55	10.3				
不明	4	0.7				

<職業集約>

原カテゴリー	回答者数	構成比		新カテゴリー	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0		(全体)	534	100.0
自営業主	47	8.8	→ 自営		87	16.3
自営業家族従業員	23	4.3				
自由業	8	1.5				
専門技術職(医師・弁護士等)	9	1.7				
役員・管理職	33	6.2	→ 被雇用		155	29.0
事務職	51	9.6				
技術職・技能職	41	7.7				
公務員	24	4.5				
教員	6	1.1	→ 主婦		135	25.3
主婦(専業)	90	16.9				
主婦(パート)	45	8.4				
アルバイト・パート	20	3.7	→ 無職		125	23.4
学生	7	1.3				
無職	98	18.4				
その他	27	5.1	→ その他	27	5.1	
不明	5	0.9	→ 不明	5	0.9	

<居住年数集約>

原カテゴリー	回答者数	構成比	新カテゴリー	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0	(全体)	534	100.0
1年未満	16	3.0	→ 新住民	61	11.4
5年未満	45	8.4	→ 中間層	129	24.2
10年未満	50	9.4	→ 旧住民	334	62.5
20年未満	79	14.8	→ 不明	10	1.9
30年未満	100	18.7			
30年以上	234	43.8			
不明	10	1.9			

<住居形態集約>

原カテゴリー	回答者数	構成比	新カテゴリー	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0	(全体)	534	100.0
一戸建て(持ち家)	244	45.7	→ 自己所有	353	66.1
マンション(分譲)	109	20.4	→ 非所有	169	31.6
借家	5	0.9	→ その他	5	0.9
マンション・アパート(賃貸)	116	21.7	→ 不明	7	1.3
都営・区営・区立住宅	31	5.8			
社宅・公務員住宅	17	3.2			
その他	5	0.9			
不明	7	1.3			

<居住年数集約×住居形態集約>

居住年数集約×住居形態集約	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0
→ 新住民 × 自己所有	26	4.9
→ 新住民 × 非自己所有	35	6.6
→ 中間層 × 自己所有	67	12.5
→ 中間層 × 非自己所有	57	10.7
→ 旧住民 × 自己所有	257	48.1
→ 旧住民 × 非自己所有	75	14.0

注：①住居形態集約のうち「その他」は除く。
②それぞれの「不明」は除く。

<職業集約×居住年数集約>

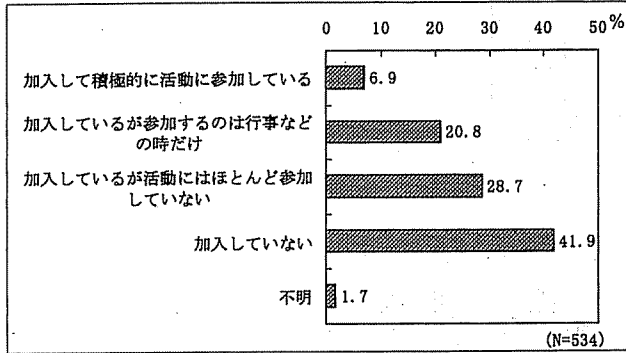
職業集約×居住年数集約	回答者数	構成比
(全体)	534	100.0
→ 自営 × 新住民	8	1.5
→ 自営 × 中間層	17	3.2
→ 自営 × 旧住民	61	11.4
→ 被雇用 × 新住民	29	5.4
→ 被雇用 × 中間層	49	9.2
→ 被雇用 × 旧住民	77	14.4
→ 主婦 × 新住民	13	2.4
→ 主婦 × 中間層	36	6.7
→ 主婦 × 旧住民	82	15.4
→ 無職 × 新住民	9	1.7
→ 無職 × 中間層	18	3.4
→ 無職 × 旧住民	97	18.2

注：①職業集約のうち「その他」は除く。
②それぞれの「不明」は除く。

3 地域の町会・自治会活動への参加状況

(1) 地域の町会・自治会活動への参加状況

(図38) 地域の町会・自治会活動への参加状況

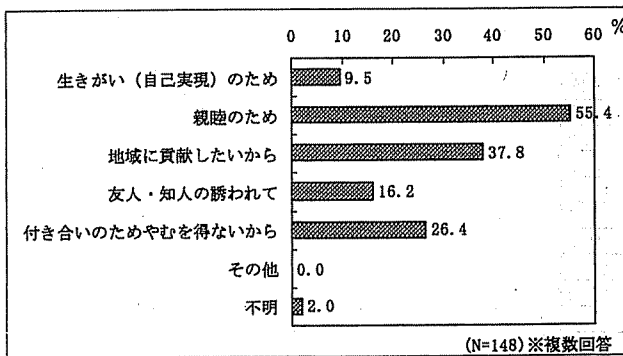


はじめに、地域における町会・自治会の活動への参加状況を見ると、「加入して積極的に活動している」割合は6.9%と少なく、「加入しているが参加するのは行事などの時だけ」という消極的な参加の20.8%と合わせても、参加している割合は30%に達していない。なお、町会・自治会に加入している割合は56.4%となっている。

注：前掲「2. 集計に用いた区分」で示したように、性別、年齢別等の基本特性をキーとしたクロス集計表を大量に作成したため、それらの中から特徴的な傾向についてのコメントを付加すると紙数が増大することから、以下の分析では特性別の傾向に関するコメントおよび質問クロスに関するコメントは割愛した。なお、特性別の傾向の詳細については別冊の「集計結果表」を参照されたい。

(2) 町会・自治会活動に参加している理由

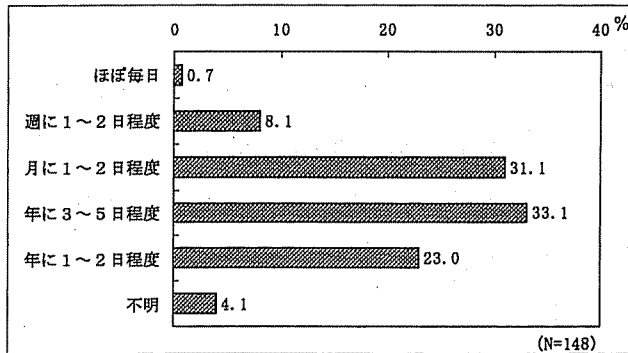
(図39) 町会・自治会活動に参加している理由



町会・自治会活動に「積極的」あるいは「行事などの時だけ」参加している人(148人)に、その参加理由を聞いた結果は(図39)のとおり、「親睦のため」が55.4%と過半数を上回っており、次いで、「地域に貢献したいから」が37.8%、「付き合いのためやむを得ないから」が26.4%となっている。

(3) 町会・自治会活動への参加頻度

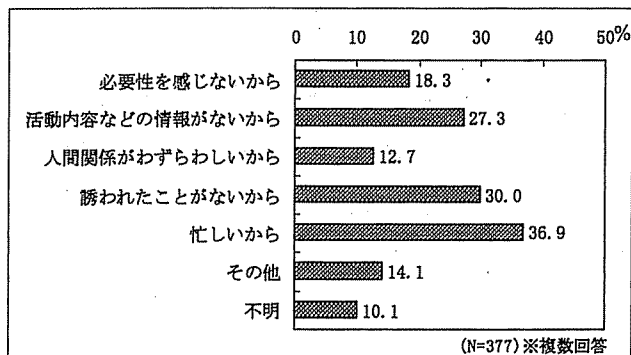
(図40) 町会・自治会活動への参加頻度



また、町会・自治会活動への参加の頻度については、「年に3~5日程度」(33.1%)と「月に1~2日程度」(31.1%)がほぼ並び、次いで、「年に1~2日程度」が23.0%で続いている。

(4) 町会・自治会活動に参加していない理由

(図41) 町会・自治会活動に参加していない理由

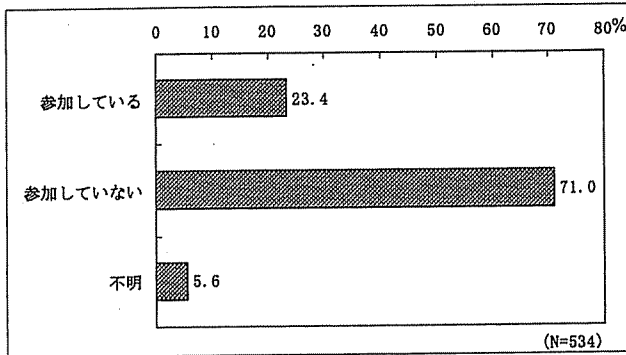


町会・自治会活動に「ほとんど参加していない」および「加入していない」人(377人)に、参加あるいは加入していない理由を聞いた結果は(図40)のとおり、「忙しいから」(36.9%)、「誘われたことがあまりないから」(30.0%)、「活動内容などについての情報がないから」(27.3%)といった理由が上位に並んでいる。

4 町会・自治会以外の地域活動への参加状況

(1) 町会・自治会以外の地域活動への参加状況

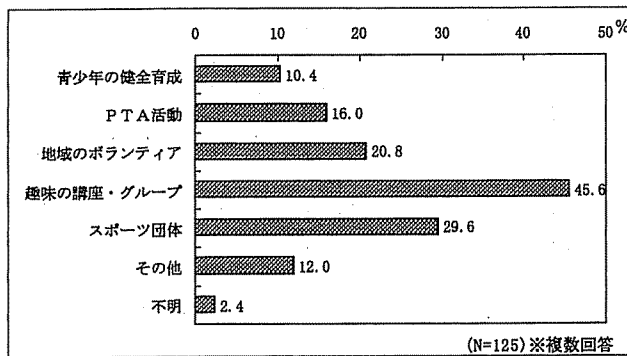
(図42) 町会・自治会以外の地域活動への参加状況



次に、地域における町会・自治会以外の活動への参加状況を見ると、参加している割合は23.4%と4分の1弱であった。

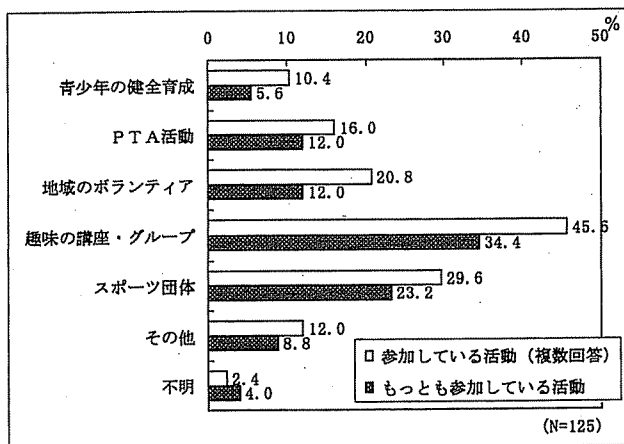
(2) 参加している活動の内容

(図43) 参加している活動の内容



上記で「参加している」と回答した人(125人)に、実際に参加している活動の内容を聞いた結果は(図43)のとおり、「趣味の講座・グループ」が45.6%でもっとも多く、次いで、「スポーツ団体」(29.6%)、「地域のボランティア」(20.8%)となっている。

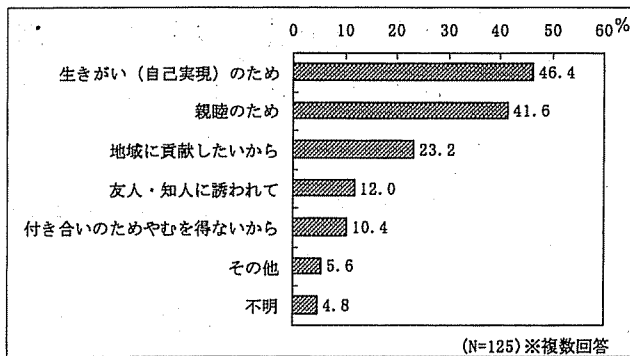
(図44) もっとも参加している活動の内容



なお、これらの活動の中で「もっとも参加している」ものを聞いた結果は(図44)のとおり、「趣味の講座・グループ」(34.4%)、「スポーツ団体」(23.2%)となっており、複数回答で聞いた結果と同様の順位となっている。

(3) もっとも参加している活動への参加理由

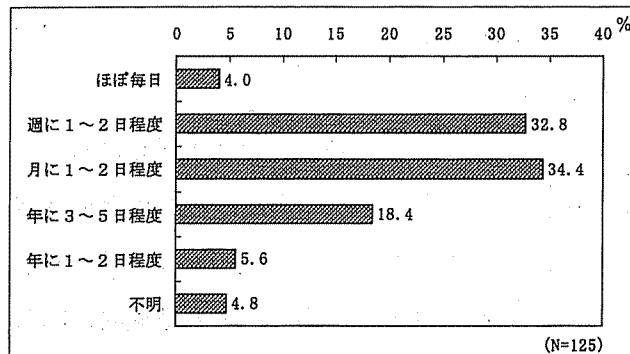
(図45) もっとも参加している活動への参加理由



次に、もっとも参加している活動への参加理由を見ると、「生きがい(自己実現)のため」が46.4%、「親睦のため」が41.6%とほぼ並んでおり、次いで、「地域に貢献したいから」という理由が続いているが、回答率は23.2%となっている。

(4) もっとも参加している活動への参加頻度

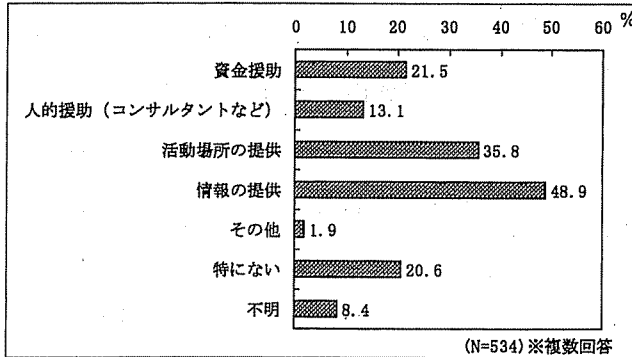
(図46) もっとも参加している活動への参加頻度



また、もっとも参加している活動への参加頻度については、「週に1~2日程度」(32.8%)と「月に1~2日程度」(34.4%)がほぼ同じ割合となっており、前掲の町会・自治会活動への参加頻度とはかなり異なっている。

5 地域での活動を行ううえで区に対して望むこと

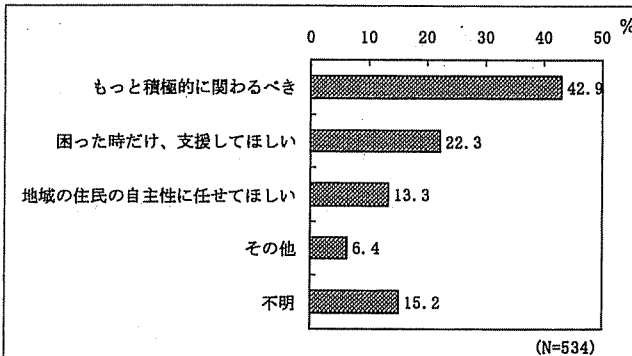
(図47) 地域での活動を行ううえで区に対して望むこと



町会・自治会活動あるいはそれ以外の活動を行ううえで区に対してどのようなことを望んでいるかについては、「情報の提供」がもっとも多くて48.9%、次いで、「活動場所の提供」が35.8%、以下、「資金援助」(21.5%)、「人的援助 (コンサルタントなど)」(13.1%)となっている。なお、「特にない」が20.6%見られる。

6 地域活動に対する区の関わり方についての考え方

(図48) 地域活動に対する区の関わり方についての考え方



また、このような地域活動に対して区がどのように関わるべきかという点についての考え方を見ると、「地域活動の推進のため、もっと積極的に関わるべきである」とする考え方が42.9%ともっとも多く、次いで、「困った時だけ、支援してほしい」が22.3%となっている。なお、「地域のことは地域の住民の自主性に任せてほしい」とする考え方は13.3%であった。

7 行動の種類別に見た区内での行動割合

(表7) 行動の種類別に見た区内での行動割合

	主に区内	区内区外半々	主に区外	その他	不明
通勤	21.7	3.0	35.0	8.4	31.8
通学	7.5	1.5	7.1	10.9	73.0
趣味活動	25.7	20.0	26.2	3.9	24.2
買い物(日用品)	67.8	21.3	2.6	0.0	8.2
買い物(日用品以外)	28.3	37.6	21.5	0.9	11.6
遊び	10.9	25.7	41.0	3.9	18.5
外食	26.6	40.3	17.4	1.3	14.4
医者にかかる	69.1	14.8	8.6	0.4	7.1

今回の調査では(表7)に示す8種類の行動について、区内での行動割合がどれくらいの水準であるかを調べた。

(表7)によると、区内での行動割合(主に区内)がもっとも多いのは「医者にかかる」場合で69.1%、次いで、「買い物(日用品)」

が67.8%と差がなく続き、この2つの行動の区内での行動割合が著しく高くなっている。

一方、逆に、区内での行動割合が著しく低いのは「通学」の7.5%、「遊び」の10.9%といった行動となっている。

なお、これ以外の「通勤」「趣味活動」「買い物(日用品以外)」「外食」についてはいずれも、区内での行動割合は20%台にとどまっている。(注:「通学」については通学をしていない人が回答者に含まれており、不明が73.0%あるのはこのため。また、通勤、趣味活動を始め、他の行動についても同様)

8 日常生活で直面するさまざまな局面における相談相手など

(表8) 日常生活で直面するさまざまな局面における相談相手など

	自分(家族)で解決	近所の人に相談	町会・自治会の役員に相談	地域の団体やサークルに相談	出張所に相談	区役所に相談	警察署・消防署に相談	議員に相談	職場の人に相談	何もしない	その他	不明
1 子育てについて悩んでいる	43.1	10.1	0.0	1.9	1.3	4.1	0.2	0.2	1.7	1.1	13.1	23.2
2 子供を預けられるところを知りたい	7.9	11.6	0.6	1.3	13.3	29.4	0.2	0.2	0.4	1.5	9.0	24.3
3 自分の子どもが暴力をふるう	29.4	3.2	0.7	3.6	1.7	8.6	14.4	0.0	1.1	0.6	11.6	25.1
4 近所の子どもがいたずらに困っている	8.8	25.9	12.7	1.5	2.2	3.0	15.0	0.0	0.4	1.7	6.2	22.5
5 青少年の非行が気になる	4.5	3.9	4.3	2.8	3.2	4.7	37.6	0.6	0.6	10.1	5.2	22.5
6 子どもの不登校が気になる	29.5	5.1	1.5	5.6	3.0	11.0	0.4	0.6	1.3	1.1	16.3	25.7
7 子どもの通う学校に不満がある	14.0	5.2	2.2	4.1	2.4	24.7	0.9	1.5	0.7	3.0	14.6	26.4
8 学校でのいじめが気になる	17.8	6.0	1.1	6.6	2.1	13.3	3.6	0.4	0.6	1.9	20.0	26.8
9 良い医者を知りたい	15.2	29.6	1.9	2.2	2.4	8.8	0.6	0.2	4.1	0.7	6.4	18.9
10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった	11.2	1.5	2.6	3.6	15.0	38.8	0.0	0.9	0.4	0.4	5.4	20.2
11 一人暮らしの高齢者になった	13.7	3.2	5.8	2.4	14.0	37.1	0.0	0.4	0.2	1.7	3.0	18.5
12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	6.9	4.3	6.6	12.2	12.0	25.8	0.0	0.7	0.4	5.4	4.1	21.5
13 近所の商店街がさびれてきた	4.1	4.9	17.0	5.8	0.6	5.8	0.2	1.9	0.2	30.9	4.9	23.8
14 安全な野菜を手に入れたい	24.3	21.0	3.2	12.5	1.3	3.6	0.0	0.2	1.5	4.3	6.4	21.7
15 ボランティア活動に参加したい	8.1	2.1	6.0	21.2	8.4	20.2	0.2	0.0	0.2	7.7	3.6	22.5
16 資源のリサイクルのために何かしたい	8.6	3.9	14.6	13.5	7.5	19.9	0.2	0.0	0.2	5.8	3.9	21.9
17 ごみ出しのルールを守らない人がいる	5.4	21.5	19.9	2.8	3.7	6.9	0.4	0.0	0.2	5.4	3.0	16.7
18 身内に不幸(葬式)ができた	41.6	11.4	13.7	0.9	2.1	4.3	2.8	0.0	0.7	1.3	3.2	18.0
19 暴走族がうるさい	2.1	1.9	3.9	1.1	0.7	2.1	39.4	1.5	0.2	6.0	1.7	19.5
20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	6.0	8.1	11.4	0.9	2.2	8.4	36.1	0.2	0.2	1.9	4.1	20.4
21 隣の家で幼児を虐待している気配がある	1.3	10.5	5.1	1.5	6.2	14.6	35.7	0.7	0.0	1.9	3.6	21.0
22 家の近くを怪しい人が歩き回っている	1.7	6.0	5.4	0.6	0.6	0.9	31.4	0.6	0.0	1.7	1.9	19.3
23 最近、隣の人を見かけなくなった	1.3	24.5	10.7	0.2	1.9	5.1	23.2	0.7	0.0	7.7	2.8	21.9
24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	2.2	3.0	12.5	2.6	9.7	34.3	1.7	2.1	0.0	6.7	2.8	22.3
25 空き地に猫の死骸がある	3.0	3.7	5.2	0.7	14.0	26.1	8.4	0.7	0.0	10.7	4.7	20.6
26 近くの交差点に信号機の取り付けしてほしい	1.3	0.7	4.9	0.2	3.4	20.2	34.7	4.5	0.0	5.2	1.5	21.3
27 軒先に蜂が巣をかけた	11.6	4.3	3.6	0.7	12.9	30.9	9.0	0.2	0.2	2.6	3.0	21.0
28 近隣に迷惑施設が計画された	2.4	4.5	11.6	2.4	5.6	31.5	8.1	3.4	1.1	5.1	1.9	22.5
29 パソコンの操作を習いたい	30.5	2.6	1.3	12.5	4.9	13.3	0.2	0.2	5.2	2.6	6.9	19.7
30 手話を習いたい	15.9	1.1	1.3	19.9	7.3	18.0	0.6	0.0	1.7	4.9	6.7	22.7
31 外国人と交流したい	17.0	1.3	0.9	16.5	3.9	16.5	0.7	0.0	1.7	7.5	8.1	23.8
32 趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい	20.4	6.2	3.4	25.3	4.1	6.0	0.2	0.0	4.1	3.4	6.2	20.8

注：■は1～32それぞれにおいて、もっとも回答率の高かった相談相手等を示す。

今回の調査では(表8)に示すような日常生活で直面しそうな32の局面をあらかじめ取り上げ、それぞれの場合においてどのような相手に相談あるいは自分で解決するかを聞いた。

(表8)がその回答結果をとりまとめたものである。それぞれの局面における回答率第1位の相談相手等を□で示したが、「区役所」が11の局面において回答率第1位となっている。次いで、「警察署・消防署」と「自分で解決」が各6、「近所の人」「地域の団体(町会・自治会以外)やサークル」が各3、

「町会・自治会の役員」「その他」および「何もしない」が各1となっている。また、「出張所」「議員」「職場の人」については回答率第1位のケースが見られなかった。

なお、それぞれの相談相手等について32の局面を回答率の高い順に並べ替えたものを次ページ以降の（表9）に掲げておくので参考とされたい。

(表9) 相談相手等別に見た回答率順の局面 (4の1)

	自分(家族)で解		近所の人に相談		町会・自治会の役員に相談
1 子育てについて悩んでいる	① 43.1	9 良い医者を知りたい	① 38.5	17 ごみ出しのルールを守らない人がいる	① 33.9
18 身内に不幸(葬式)ができた	② 41.6	4 近所の子どもがいたずらに困っている	② 36.0	13 近所の商店街がさびれてきた	② 17.0
29 パソコンの操作を習いたい	③ 30.6	23 最近、隣の人を見かけなくなった	③ 24.3	16 資源のリサイクルのために何かしたい	③ 14.6
3 自分の子どもが暴力をふるう	④ 29.4	17 ごみ出しのルールを守らない人がいる	④ 21.5	18 身内に不幸(葬式)ができた	④ 13.7
6 子どもの不登校が気になる	⑤ 28.5	14 安全な野菜を手に入れたい	⑤ 21.0	4 近所の子どもがいたずらに困っている	⑤ 12.7
14 安全な野菜を手に入れたい	⑥ 24.3	2 子供を預けられるところを知りたい	⑥ 11.6	24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	⑥ 12.5
32 趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい	⑦ 20.4	18 身内に不幸(葬式)ができた	⑦ 11.4	28 近隣に迷惑施設が計画された	⑦ 11.6
8 学校でのいじめが気になる	⑧ 17.8	21 隣の家で幼児を虐待している気配がある	⑧ 10.5	20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	⑧ 11.4
31 外国人と交流したい	⑨ 17.0	1 子育てについて悩んでいる	⑨ 10.1	23 最近、隣の人を見かけなくなった	⑨ 10.7
30 手話を習いたい	⑩ 15.9	20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	⑩ 8.1	12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	⑩ 6.6
9 良い医者を知りたい	15.2	32 趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい	6.2	15 ボランティア活動に参加したい	6.0
7 子どもの通う学校に不満がある	14.0	8 学校でのいじめが気になる	6.0	11 一人暮らしの高齢者になった	5.8
11 一人暮らしの高齢者になった	13.7	22 家の近くを怪しい人が歩き回っている	6.0	22 家の近くを怪しい人が歩き回っている	5.4
27 軒先に蜂が巣をかけた	11.6	7 子どもの通う学校に不満がある	5.2	25 空き地に猫の死骸がある	5.2
10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった	11.2	6 子どもの不登校が気になる	5.1	21 隣の家で幼児を虐待している気配がある	5.1
4 近所の子どもがいたずらに困っている	8.8	13 近所の商店街がさびれてきた	4.9	26 近くの交差点に信号機の取り付けてほしい	4.9
16 資源のリサイクルのために何かしたい	8.6	28 近隣に迷惑施設が計画された	4.5	5 青少年の非行が気になる	4.3
15 ボランティア活動に参加したい	8.1	12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	4.3	19 暴走族がうるさい	3.9
2 子供を預けられるところを知りたい	7.9	27 軒先に蜂が巣をかけた	4.3	27 軒先に蜂が巣をかけた	3.6
12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	6.9	5 青少年の非行が気になる	3.9	32 趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい	3.4
20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	6.0	16 資源のリサイクルのために何かしたい	3.9	14 安全な野菜を手に入れたい	3.2
17 ごみ出しのルールを守らない人がいる	5.4	25 空き地に猫の死骸がある	3.7	10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった	2.6
5 青少年の非行が気になる	4.5	3 自分の子どもが暴力をふるう	3.2	7 子どもの通う学校に不満がある	2.2
13 近所の商店街がさびれてきた	4.1	11 一人暮らしの高齢者になった	3.2	9 良い医者を知りたい	1.9
25 空き地に猫の死骸がある	3.0	24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	3.0	6 子どもの不登校が気になる	1.5
28 近隣に迷惑施設が計画された	2.4	29 パソコンの操作を習いたい	2.6	29 パソコンの操作を習いたい	1.3
24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	2.2	15 ボランティア活動に参加したい	2.1	30 手話を習いたい	1.3
19 暴走族がうるさい	2.1	19 暴走族がうるさい	1.9	8 学校でのいじめが気になる	1.1
22 家の近くを怪しい人が歩き回っている	1.7	10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった	1.5	31 外国人と交流したい	0.9
21 隣の家で幼児を虐待している気配がある	1.3	31 外国人と交流したい	1.3	3 自分の子どもが暴力をふるう	0.7
23 最近、隣の人を見かけなくなった	1.3	30 手話を習いたい	1.1	2 子供を預けられるところを知りたい	0.6
26 近くの交差点に信号機の取り付けてほしい	1.3	26 近くの交差点に信号機の取り付けてほしい	0.7	1 子育てについて悩んでいる	0.0

注: ■ は(表8)で示した回答率第1位のもの。

(表9) 相談相手等別に見た回答率順の局面 (4の2)

ク地域 の相談 相手やサ ー		出 張 所 に 相 談	区 役 所 に 相 談
32 趣味やスポーツを一緒に行 う仲間がほしい	① 25.9	10 家族が寝たきりや痴呆に なってしまった	① 15.0
15 ボランティア活動に参加し たい	② 21.2	11 一人暮らしの高齢者になっ た	② 14.0
30 手話を習いたい	③ 19.9	25 空き地に猫の死骸がある	③ 14.0
31 外国人と交流したい	④ 16.5	2 子供を預けられるところを 知りたい	④ 13.3
16 資源のリサイクルのために 何かしたい	⑤ 13.5	27 軒先に蜂が巣をかけた	⑤ 12.9
14 安全な野菜を手に入れた い	⑥ 12.5	12 一人暮らしの高齢者に何か してあげたい	⑥ 12.0
29 パソコンの操作を習いたい	⑦ 12.5	24 近くの空き地を公園や子ども の遊び場として利用したい	⑦ 9.7
12 一人暮らしの高齢者に何か してあげたい	⑧ 12.2	15 ボランティア活動に参加し たい	⑧ 8.4
8 学校でのいじめが気になる	⑨ 6.6	16 資源のリサイクルのために 何かしたい	⑨ 7.5
13 近所の商店街がさびれてき た	⑩ 5.8	30 手話を習いたい	⑩ 7.3
6 子どもの不登校が気になる	5.6	21 隣の家で幼児を虐待してい る気配がある	6.2
7 子どもの通う学校に不満が ある	4.1	28 近隣に迷惑施設が計画され た	5.6
3 自分の子どもが暴力をふる う	3.6	29 パソコンの操作を習いたい	4.9
10 家族が寝たきりや痴呆に なってしまった	3.6	32 趣味やスポーツを一緒に行 う仲間がほしい	4.1
5 青少年の非行が気になる	2.8	31 外国人と交流したい	3.9
17 ごみ出しのルールを守らな い人がいる	2.8	17 ごみ出しのルールを守らな い人がいる	3.7
24 近くの空き地を公園や子ども の遊び場として利用したい	2.6	26 近くの交差点に信号機の取 り付けてほしい	3.4
11 一人暮らしの高齢者になっ た	2.4	5 青少年の非行が気になる	3.2
28 近隣に迷惑施設が計画され た	2.4	6 子どもの不登校が気になる	3.0
9 良い医者を知りたい	2.2	7 子どもの通う学校に不満が ある	2.4
1 子育てについて悩んでいる	1.9	9 良い医者を知りたい	2.4
4 近所の子どものいたずらに 困っている	1.5	4 近所の子どものいたずらに 困っている	2.2
21 隣の家で幼児を虐待してい る気配がある	1.5	20 隣の家から迷惑 (騒音・悪臭・ 嫌がらせ等) を受けている	2.2
2 子供を預けられるところを 知りたい	1.3	8 学校でのいじめが気になる	2.1
19 暴走族がうるさい	1.1	18 身内に不幸 (葬式) ができ た	2.1
18 身内に不幸 (葬式) ができ た	0.9	23 最近、隣の人を見かけなく なった	1.9
20 隣の家から迷惑 (騒音・悪臭・ 嫌がらせ等) を受けている	0.9	3 自分の子どもが暴力をふる う	1.7
25 空き地に猫の死骸がある	0.7	1 子育てについて悩んでいる	1.3
27 軒先に蜂が巣をかけた	0.7	14 安全な野菜を手に入れた い	1.3
22 家の近くを怪しい人が歩き 回っている	0.6	19 暴走族がうるさい	0.7
23 最近、隣の人を見かけなく なった	0.2	13 近所の商店街がさびれてき た	0.6
26 近くの交差点に信号機の取 り付けてほしい	0.2	22 家の近くを怪しい人が歩き 回っている	0.6
10 家族が寝たきりや痴呆に なってしまった	① 36.6	11 一人暮らしの高齢者になっ た	② 37.1
24 近くの空き地を公園や子ども の遊び場として利用したい	③ 34.3	28 近隣に迷惑施設が計画され た	④ 31.5
27 軒先に蜂が巣をかけた	⑤ 30.9	2 子供を預けられるところを 知りたい	⑥ 29.8
25 空き地に猫の死骸がある	⑦ 28.1	12 一人暮らしの高齢者に何か してあげたい	⑧ 25.4
12 一人暮らしの高齢者に何か してあげたい	⑧ 25.4	7 子どもの通う学校に不満が ある	⑨ 24.7
15 ボランティア活動に参加し たい	⑩ 20.2	31 外国人と交流したい	18.6
26 近くの交差点に信号機の取 り付けてほしい	20.2	30 手話を習いたい	18.0
16 資源のリサイクルのために 何かしたい	19.9	21 隣の家で幼児を虐待してい る気配がある	14.6
31 外国人と交流したい	18.6	8 学校でのいじめが気になる	13.3
30 手話を習いたい	18.0	29 パソコンの操作を習いたい	13.3
21 隣の家で幼児を虐待してい る気配がある	14.6	6 子どもの不登校が気になる	11.0
8 学校でのいじめが気になる	13.3	9 良い医者を知りたい	8.8
29 パソコンの操作を習いたい	13.3	3 自分の子どもが暴力をふる う	8.6
6 子どもの不登校が気になる	11.0	20 隣の家から迷惑 (騒音・悪臭・ 嫌がらせ等) を受けている	8.4
9 良い医者を知りたい	8.8	17 ごみ出しのルールを守らな い人がいる	6.9
3 自分の子どもが暴力をふる う	8.6	32 趣味やスポーツを一緒に行 う仲間がほしい	6.0
20 隣の家から迷惑 (騒音・悪臭・ 嫌がらせ等) を受けている	8.4	13 近所の商店街がさびれてき た	5.8
17 ごみ出しのルールを守らな い人がいる	6.9	23 最近、隣の人を見かけなく なった	5.1
32 趣味やスポーツを一緒に行 う仲間がほしい	6.0	5 青少年の非行が気になる	4.7
13 近所の商店街がさびれてき た	5.8	18 身内に不幸 (葬式) ができ た	4.3
23 最近、隣の人を見かけなく なった	5.1	1 子育てについて悩んでいる	4.1
5 青少年の非行が気になる	4.7	14 安全な野菜を手に入れた い	3.6
18 身内に不幸 (葬式) ができ た	4.3	4 近所の子どものいたずらに 困っている	3.0
1 子育てについて悩んでいる	4.1	19 暴走族がうるさい	2.1
14 安全な野菜を手に入れた い	3.6	22 家の近くを怪しい人が歩き 回っている	0.9
4 近所の子どものいたずらに 困っている	3.0		
19 暴走族がうるさい	2.1		
22 家の近くを怪しい人が歩き 回っている	0.9		

注: [] は (表8) で示した回答率第1位のもの。

(表9) 相談相手等別に見た回答率順の局面 (4の3)

		警察署・消防署に相談	議員に相談	職場の人に相談
22	家の近くを怪しい人が歩き回っている	① 81.4	① 4.5	29 パソコンの操作を習いたい ① 5.2
19	暴走族がうるさい	② 69.4	② 3.4	9 良い医者を知りたい ② 4.1
5	青少年の非行が気になる	③ 37.6	③ 2.1	32 趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい ③ 4.1
26	近くの交差点に信号機の取り付けてほしい	④ 36.7	④ 1.9	1 子育てについて悩んでいる ④ 1.7
20	隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	⑤ 35.1	⑤ 1.5	30 手話を習いたい ⑤ 1.7
21	隣の家で幼児を虐待している気配がある	⑥ 33.5	⑥ 1.5	31 外国人と交流したい ⑥ 1.7
23	最近、隣の人を見かけなくなった	⑦ 23.2	⑦ 0.9	14 安全な野菜を手に入れたい ⑦ 1.5
4	近所の子どものいたずらに困っている	⑧ 15.0	⑧ 0.7	6 子どもの不登校が気になる ⑧ 1.3
3	自分の子どもが暴力をふるう	⑨ 14.4	⑨ 0.7	3 自分の子どもが暴力をふるう ⑨ 1.1
27	軒先に蜂が巣をかけた	⑩ 9.0	⑩ 0.7	28 近隣に迷惑施設が計画された ⑩ 1.1
25	空き地に猫の死骸がある	8.4	25 空き地に猫の死骸がある 0.7	7 子どもの通う学校に不満がある 0.7
28	近隣に迷惑施設が計画された	8.1	5 青少年の非行が気になる 0.6	18 身内に不幸(葬式)ができた 0.7
8	学校でのいじめが気になる	3.6	6 子どもの不登校が気になる 0.6	5 青少年の非行が気になる 0.6
18	身内に不幸(葬式)ができた	2.8	22 家の近くを怪しい人が歩き回っている 0.6	8 学校でのいじめが気になる 0.6
24	近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	1.7	8 学校でのいじめが気になる 0.4	2 子供を預けられるところを知りたい 0.4
7	子どもの通う学校に不満がある	0.9	11 一人暮らしの高齢者になった 0.4	4 近所の子どものいたずらに困っている 0.4
31	外国人と交流したい	0.7	1 子育てについて悩んでいる 0.2	10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった 0.4
9	良い医者を知りたい	0.6	2 子供を預けられるところを知りたい 0.2	12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい 0.4
30	手話を習いたい	0.6	9 良い医者を知りたい 0.2	11 一人暮らしの高齢者になった 0.2
6	子どもの不登校が気になる	0.4	14 安全な野菜を手に入れたい 0.2	13 近所の商店街がさびれてきた 0.2
17	ごみ出しのルールを守らない人がいる	0.4	20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている 0.2	15 ボランティア活動に参加したい 0.2
1	子育てについて悩んでいる	0.2	27 軒先に蜂が巣をかけた 0.2	16 資源のリサイクルのために何かしたい 0.2
2	子供を預けられるところを知りたい	0.2	29 パソコンの操作を習いたい 0.2	17 ごみ出しのルールを守らない人がいる 0.2
13	近所の商店街がさびれてきた	0.2	3 自分の子どもが暴力をふるう 0.0	19 暴走族がうるさい 0.2
15	ボランティア活動に参加したい	0.2	4 近所の子どものいたずらに困っている 0.0	20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている 0.2
16	資源のリサイクルのために何かしたい	0.2	15 ボランティア活動に参加したい 0.0	27 軒先に蜂が巣をかけた 0.2
29	パソコンの操作を習いたい	0.2	16 資源のリサイクルのために何かしたい 0.0	21 隣の家で幼児を虐待している気配がある 0.0
32	趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい	0.2	17 ごみ出しのルールを守らない人がいる 0.0	22 家の近くを怪しい人が歩き回っている 0.0
10	家族が寝たきりや痴呆になってしまった	0.0	18 身内に不幸(葬式)ができた 0.0	23 最近、隣の人を見かけなくなった 0.0
11	一人暮らしの高齢者になった	0.0	30 手話を習いたい 0.0	24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい 0.0
12	一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	0.0	31 外国人と交流したい 0.0	25 空き地に猫の死骸がある 0.0
14	安全な野菜を手に入れたい	0.0	32 趣味やスポーツを一緒に行う仲間がほしい 0.0	26 近くの交差点に信号機の取り付けてほしい 0.0

注: [] は(表8)で示した回答率第1位のもの。

(表9) 相談相手等別に見た回答率順の局面 (4の4)

	何もしない		その他
13 近所の商店街がさびれてきた	① 30.9	8 学校でのいじめが気になる	① 20.0
25 空き地に猫の死骸がある	② 10.7	6 子どもの不登校が気になる	② 16.3
5 青少年の非行が気になる	③ 10.1	7 子どもの通う学校に不満がある	③ 14.6
15 ボランティア活動に参加したい	④ 7.7	1 子育てについて悩んでいる	④ 13.1
23 最近、隣の人を見かけなくなった	⑤ 7.7	3 自分の子どもが暴力をふるう	⑤ 11.6
31 外国人と交流したい	⑥ 7.5	2 子供を預けられるところを知りたい	⑥ 9.0
24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	⑦ 6.7	31 外国人と交流したい	⑦ 8.1
19 暴走族がうるさい	⑧ 6.0	29 パソコンの操作を習いたい	⑧ 6.9
16 資源のリサイクルのために何かしたい	⑨ 5.8	30 手話を習いたい	⑨ 6.7
12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	⑩ 5.4	9 良い医者を知りたい	⑩ 6.4
17 ごみ出しのルールを守らない人がいる	5.4	14 安全な野菜を手に入れたい	6.4
26 近くの交差点に信号機の取り付けてほしい	5.2	4 近所の子どもがいたずらに困っている	6.2
28 近隣に迷惑施設が計画された	5.1	32 趣味やスポーツと一緒に行う仲間がほしい	6.2
30 手話を習いたい	4.9	10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった	5.4
14 安全な野菜を手に入れたい	4.3	5 青少年の非行が気になる	5.2
32 趣味やスポーツと一緒に行う仲間がほしい	3.4	13 近所の商店街がさびれてきた	4.9
7 子どもの通う学校に不満がある	3.0	25 空き地に猫の死骸がある	4.7
27 軒先に蜂が巣をかけた	2.6	12 一人暮らしの高齢者に何かしてあげたい	4.1
29 パソコンの操作を習いたい	2.6	20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	4.1
8 学校でのいじめが気になる	1.9	16 資源のリサイクルのために何かしたい	3.9
20 隣の家から迷惑(騒音・悪臭・嫌がらせ等)を受けている	1.9	15 ボランティア活動に参加したい	3.6
21 隣の家で幼児を虐待している気配がある	1.9	21 隣の家で幼児を虐待している気配がある	3.6
4 近所の子どもがいたずらに困っている	1.7	18 身内に不幸(葬式)ができた	3.2
11 一人暮らしの高齢者になった	1.7	11 一人暮らしの高齢者になった	3.0
22 家の近くを怪しい人が歩き回っている	1.7	17 ごみ出しのルールを守らない人がいる	3.0
2 子供を預けられるところを知りたい	1.5	27 軒先に蜂が巣をかけた	3.0
18 身内に不幸(葬式)ができた	1.3	23 最近、隣の人を見かけなくなった	2.8
1 子育てについて悩んでいる	1.1	24 近くの空き地を公園や子どもの遊び場として利用したい	2.8
6 子どもの不登校が気になる	1.1	22 家の近くを怪しい人が歩き回っている	1.9
9 良い医者を知りたい	0.7	28 近隣に迷惑施設が計画された	1.9
3 自分の子どもが暴力をふるう	0.6	19 暴走族がうるさい	1.7
10 家族が寝たきりや痴呆になってしまった	0.4	26 近くの交差点に信号機の取り付けてほしい	1.5

注: ■ は(表8)で示した回答率第1位のもの。

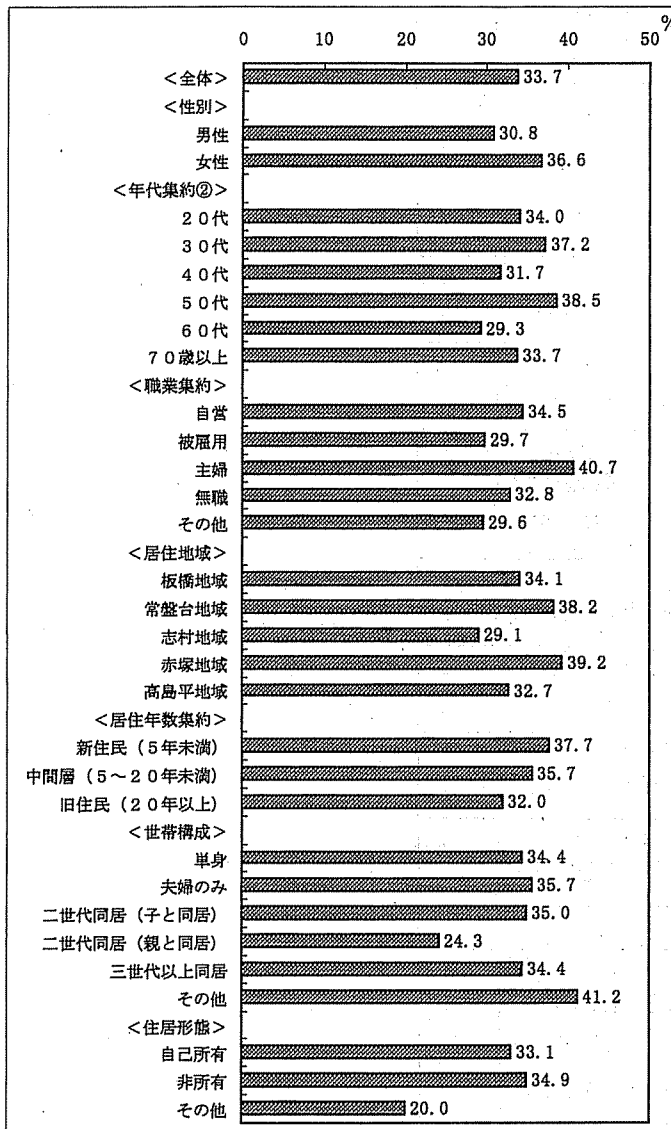
9 地域活動やそれに対する区の施策などについて（自由意見）

下記のように、自由意見を記入してもらう欄を設けた。

問15 地域活動やそれに対する区の施策についてなど、どんなことでも結構ですから、あなたのご意見を下欄に自由にお書き下さい。

この結果、有効回答数 534 N の 33.7% にあたる 180 N に自由意見の記入があった（注：自由意見の文章の長短は考慮していない）。この記入率を性別、年代別等の基本特性別に示すと（図 49）のようになっている。

（図49）性別、年代別等の基本特性別に見た自由意見の記入率



これらの自由意見の中には、「高齢者意向調査」の自由意見のところで見たと同様、地域活動を行ううえでの施設の新設・再配置や活動のジャンルの拡大といった点に関する意見が多く見られたが、内容的に重複しているものも多いため、ここではその詳細は割愛する。ただ、区民の要望は多岐にわたっており、これに応えるためには相当の努力が必要であると思われることを付記しておく。

ところで、この調査のテーマのひとつである「地域」というものに対する受け止め方を自由意見の中から見ると、大別して、2つの軸がありそうである。ひとつは、集計の際のキーとしても用いている「新住民 vs 旧住民」という軸であり、もうひとつは「集合住宅 vs 非集合住宅」という軸である。しかも、この2つの軸がそれぞれの地域において微妙に絡み合っており、より問題を複雑化しているといえそうである。

最初の軸である「新住民 vs 旧住民」については、「お祭りなどの町会による地域の活動はずっとこの地域に住んでいるいわゆる『土地っ子』だけでやっているように見える」「このため、その輪の中に簡単には入れない雰囲気がある」といった受け止め方を新住民はしており、現在地に移り住んで6年という人の「そろそろ地域の活動に参加したいと思うようになって来ているが、町会を中心とした（旧住民の）輪の中にどのように入っていけばよいかかわからない」という意見に代表されるように、新住民と旧住民の交流のきっかけが見つからないというのが現実のようである。一方で、旧住民の方も「小さい頃に遊び回っていた原っぱはなくなり、新しく作られた公園は芝生が立ち入り禁止になっている。いったい、今の子どもはどこで遊ばばいいのか」と、かつてのことを懐かしむ一方で現在を嘆いており、新住民も旧住民も地域＝コミュニティの実体がどこにあるのかわからない不幸な現状にあるといえよう。

もうひとつの軸である「集合住宅 vs 非集合住宅」については、区内には高島平地域の集合住宅群をはじめとして工場跡地等のマンションも多いため、「マンションに住んでいると、マンションの中での付き合い自体が希薄であり、いわんや、周辺地域の人たちとの付き合いなどまったくといってない」状況であることから、集合住宅は周辺との付き合いを拒むきわめて閉鎖的なコミュニティとなっている感が強い。また、規模の大きい集合住宅ではそれがイコール町会となっているケースもあり、そこでは、「新住民 vs 旧住民」の軸と「集合住宅 vs 非集合住宅」の軸が複雑に絡み合っており、コミュニティの融和という点については解決すべき問題の根は深いといえる。

しかしながら、今回の調査票の中で取り上げた（問6）日常生活で直面しそうな32の

局面に関する質問について、「ひとつずつ回答しながら、たしかにこういうことは起こりうると思った。が、実際に起きたらどうすればよいのか、どこにどのように連絡をし、どのように処理すればよいのか、まったく見当がつかなかった。そういう意味で、地域との関わり（の希薄さ）を実感せざるをえなかったし、こういうことについて、行政側から、それはこうすればいいという情報が与えられればありがたい。このアンケートによって、地域との関わりをあらためて考えさせられるきっかけを得た」という意見があったことを見ると、行政側が「地域＝コミュニティ」について常に情報の発信を続けることが地域の問題を解決する第1歩になることを教えられたといってよいかも知れない。